第１８回
オリエンテーリング世界選手権大会
報告書

1999 年 8 月 1 日～8 日

Inverness, Scotland

1999年世界選手権大会を終えて

WOC SQUAD JAPAN 代表
宮川 達哉

今年もオリエンテーリング日本代表チームは無事世界選手権を戦いぬいてまいりました．これまでサポートして下さった皆さん，応援して下さった皆さんにあらためてお礼を言いたいと思います．ありがとうございました．

今年の戦い振りについては，この報告書をご覧頂ければお分かりになると思います．いろいろな評価があろうかと思います．結果として目標を達成できなかったこと．まだまだ大きい世界との隔たり．しかし，私は今年の戦いを見てひとつのことが思い浮かびました．日本での努力は決して無駄ではない．もちろんそれがすべてではありません．しかし，その努力は必ずや世界に挑戦する時の一助になるのではないでしょうか．その努力とは，直接的にエリートのトレーニングや，選手強化活動にあるだけでなく，日本国内におけるオリエンテーリング競技の環境づくりにもあると思います．

来年からは日本で国際的なオリエンテーリングのレースが目白押しとなります．是非とも地元開催にふさわしい結果を残したいと思っています．それは，選手だけでなく，組織も，運営者も，応援する人も．

われわれスコードはこれからもこうしたオリエンテーリングを通じて世界に挑戦していく人を応援し，応援する環境作りをリードしていきたいと考えています．

1999年オリエンテーリング世界選手権大会報告書

目　次

日本代表チーム 選手団		1
遠征までの経過		1
遠征日程		1
チームマネージャー報告	藤井 範久	3
男子チームコーチ報告	村越 真	3
女子チームコーチ報告	山岸 倫也	5
初めての世界選手権～スコットランドへの道	三好 暢子	7
クラシックレース予選（男子）	松澤 俊行	7
クラシックレース予選（女子）	金並 由香	8
クラシックレース決勝観戦記	加賀屋 博文	9
ショートディスタンス予選（男子）	藤城 公久	10
ショートディスタンス予選（女子）	落合 志保子	11
ショートディスタンス決勝観戦記	山口 大助	13
男子リレー	鹿島田 浩二	13
女子リレー	田島 利佳	15
成績一覧		
ショートディスタンス予選		17
ショートディスタンス決勝		19
クラシック予選		20
クラシック予選		22
リレー		23
会計報告		26

日本代表チーム 選手団

選　手　　村越 真（男子コーチ兼任）　三好暢子
　　加賀屋 博文　　金並由香
　　鹿島田浩二　　田島利佳
　　松澤俊行　　落合志保子
　　藤城公久
　　山口大助

チームオフィシャル
　　藤井範久（ジェネラルマネージャー）
　　山岸倫也（女子コーチ）

遠征までの経過

1998年
　8月　　スコットランドでの強化合宿
　11月　8日　予備選考会第1戦　筑波大学大会　上位7名が本選考会参加資格を得た
　11月 15日　予備選考会第2戦　東日本大会　　上位7名が本選考会参加資格を得た
　12月 13日　予備選考会第3戦　みちの会大会　上位7名が本選考会参加資格を得た

1999年
　3月 21日　予備選考会第4戦　全日本大会　　優勝者（村越，三好）を日本代表選手として選考した．上位10名が本選考会参加資格を得た
　4月 11日　本選考会第1戦（ショートディスタンス）　岐阜県「東濃牧場」
　　トップタイムの106%以内の選手を日本代表選手として選考した（鹿島田，藤城，田島，落合）
　4月 25日　本選考会第2戦（クラシックレース）　静岡県「雨降山物語」
　　トップタイムの106%以内の選手を日本代表選手として選考した（松澤）．さらにSQUAD強化部の推薦選手として，加賀屋，山口，金並の3名を日本代表選手として選考した．
　5月1日～3日　国内強化合宿1　岐阜県恵那市
　5月22～23日　国内強化合宿2　栃木県矢板市，日光市，今市市
　6月19～20日　国内強化合宿3　静岡県富士市，富士宮市
　7月10～11日　国内強化合宿4　山梨県北巨摩郡（八ケ岳山麓）兼壮行チャリティ大会
　7月24日～31日　Aviemoreにて最終トレーニングキャンプ
　8月1日～8日　世界選手権大会

遠征日程

7月24日　トレーニングキャンプ開始（Aviemoreをベースキャンプにして）
　　午後：Moor of Alvie
　25日　午前：Anagach Wood　　午後：Alvie Estate
　26日　午前：Strathmashie　　午後：Uath Lochan
　27日　午前：Battan　　午後：休息
　28日　休息日　一部はUath Lochanでトレーニング

29日　Darnaway Forest　アメリカチームと合同でテストレース．このDarnaway Forestは，世界選手権での日本人最高順位を持つ杉山氏が1976年に26位を記録したテレイン．

30日　午前：Comar Wood（クラシックレースモデルテレイン）＆Achtemarack（ショートディスタンス対策）

午後：休息

31日　North Granish（リレーモデルテレイン）　一部は一般併設大会（Highland99）に参加　トレーニング後，Invernessへ移動

8月1日　開会式　一部は一般大会に参加

2日　クラシックレース予選（Guisachan）　決勝進出者なし

3日　休息日　一部は一般大会に参加

4日　クラシック決勝（Glen Affric）

5日　休息日　一部は一般大会に参加，一部はNorth West Dallaschyle（ショートディスタンスモデルテレイン）へ

6日　ショートディスタンス予選（Rogie）　決勝進出者なし，一部は一般大会に参加

7日　ショートディスタンス決勝（Dallaschyle Wood），一部はNorth Granish（リレーモデルテレイン）へ

8日　リレー（Loch Vaa & Kinchurdy）

9日　解散

日本代表チーム（8月1日，開会式を前にして）

チームマネージャー報告

藤井 範久

英国・スコットランドで開催されたオリエンテーリング世界選手権（1999年8月1～8日）に，選手として男子6名，女子4名，選手をサポートするオフィシャル2名の合計12名が日本代表チームとして参加した．

世界選手権の成績に関しては，本報告書の後ろにまとめて掲載してあります．簡単に日本チームの成績を述べると，個人レース（クラシックレース，ショートディスタンスレース）では予選通過者ゼロ，リレーでは男子21位，女子21位でした．

これらは数字的には前回のノルウェーでの世界選手権を越えたものでは決してありません．しかし世界選手権初出場の藤城が，ショートディスタンスで予選通過まであと6秒という好成績を残しています．また同じく初出場の松澤も，クラシックレース予選で，ヒート（組）は異なるもののタイム的には村越を上回る成績を残しており，これまで行ってきたスコードの強化方針に大きな間違いがなかったことが確認できます．一方女子については，これまでは，海外のレース，しかも世界選手権ということで，自分のオリエンテーリングを忘れてしまっていたものです．しかし山岸コーチを中心に選手個々のオリエンテーリングのタイプに合わせた課題を明確にし，国内および最終トレーニングキャンプで練習を繰り返しました．そして最終的には国内でするオリエンテーリングを世界選手権という場で発揮できるようになりました（逆に考えると，ミスのパターンも国内と同じものになってしまうのですが）．

さらにレース内容を踏まえたうえで成績をみてみると，チームや個々の選手に設定した目標とその結果が一致するようになってきていることが分かります．また現在のような目標設定であれば，そこまでの道筋（トレーニング方法やコーチングなど）については，おぼろげながら掴んでいます．しかし本当の目標は，「予選通過，惜しかったね」と言われることでもありませんし，「国内と同じオリエンテーリングをする」ことではありません．その結果として言えることは，今後はより高い目標設定をすることと，そのための道筋を探しだしていく必要があります（これまでと同じ道筋をたどっているだけではより高い目標へはたどり着けないでしょう）．

世界選手権を2005年に日本で開催しようという動きがあり，来年の夏には開催地の決定がなされます．スウェーデンが立候補するという情報もありますが，是非日本で開催したいものです．今回の英国での世界選手権では，地元開催となる英国に金メダルがいきました．日本開催が決まった際には，長期的な視野に立った選手強化が必要であることはいうまでもありません．今後もスコード，日本代表チームの活動にご協力をお願いいたします．

最後になりましたが，今回の世界選手権参加に際して賛助金を提供していただいた皆様，チャリティ大会の参加者ならびに運営者の皆様，選考会運営や強化合宿でサポートしていただいた皆様に，チームを代表して感謝いたします．

男子チームコーチ報告

村越 真

今回の世界選手権（以下WOC）にあたっての男子チームの目標は，クラシック・ショートの個人種目で複数の予選通過，リレーでの15位であった．結果からみれば，これらの目標は全て達成できなかったが，収穫の多かった世界選手権であったと評価している．

一番大きな収穫は，WOC初出場かつ遠征経験の少ない選手が目標に近いパフォーマンスを残した点である．松沢は96年以来の遠征であったが，クラシック予選で，通過まで5分のタイム

で走り，日本選手最高の順位を残した．また藤城も96年ワールドカップ以来の遠征であったが，ショートで予選通過まで6秒の16位，リレーでも対トップ比125%の結果であった．これは，村越や鹿島田の初出場時の記録と比較しても遜色ないパフォーマンスである．オリエンテーリングにおいて，経験が競技力向上に大きな役割を果たしていることは疑いの余地がない．またこれまで多くの選手が北欧への遠征を何度も経験してレベルを高めていた．しかし，予選通過のレベルまでは，日本の国内での経験で十分通じることを藤城や松沢の結果は示している．

第二の点は，収穫というよりはむしろ発見というべきであろう．日本チームの苦手な面と得意な面がはっきりと確認できた点である．今回の世界選手権では，クラシック，ショート，リレーのコンセプトがはっきりと区別されていた．クラシックは巨大な山の斜面を利用して行われた．傾斜，植生ともタフだが，地形的には必ずしも難しくない．コースも予選・決勝とも技術的に難しい部分は特にないコースであった．対してショートは微地形はあるものの全般的には走りやすくスピードがでる．その中で細かい地図読みと方向決定が問われる．リレーもスピードが要求される平坦なコースであるが，微地形が多い．他の選手と併走することの多いリレーでは，コントロールエリアでのスピードコントロールとリロケーションが特に重要な課題である．日本チームの弱点や長所は，タフな植生とコース，積極的なルートプランの要求されるコースでは相対的に遅いが，一方ショート・リレーのような細かいナヴィゲーションを要求されるコースでは，相対的に予選通過のレベルにいる．またリレーでは集団として走った時と，一人になった時の差が大きい．これは技術的にも身体的にも追い込んだ状態でレースをすることが苦手なことを示している．トップ選手は心理的にも技術的にも（そしてもちろん身体的にも）追い込んだ状態でレースをしている．トップ選手として当たり前のことが，まだできていないのである．これらの点は，今までも断片的には指摘されていた点である．改めてチーム全体として，結果（予選通過）との関係でこれらの点が明らかになった点は大きな収穫と言えるだろう．

今回は，これまで順位によっていた選考方法を対トップ比による方法に改めた．これは，複数の予選通過を目標として掲げたためである．予選通過のためには日本国内で上位に入るだけではなく，世界選手権の基準で見ても一定のレベルに入っている必要がある．直接的にこれを確認することはできないが，前回の村越のタイムが予選通過ラインまで所要時間の3%余裕を持っていたこと，選考会から本番までの伸びや現実性を考えると，選考会時点では，村越や鹿島田の+6%以内のタイムで走れる必要があると考えた．また前回全ての選手が+6%以内で走っていればリレーでは15位に近いタイムとなる．選考会後も合宿でのレースではトップの6%以内と，予選通過が目標であることを繰り返し意識させた．このような強化の指針が，チーム全体のレベルアップにつながったことは結果からも明らかである．

反面，トップ選手のさらなるレベルアップの方法論が不足していることも否定できない．鹿島田のリレーを除けば，鹿島田，村越とも結果からみる限りむしろ後退の感さえある．村越のパフォーマンスの低下は，彼がもはや頼るべき選手ではないことを示している．鹿島田を始めとする過去の経験者たちが彼に代わり超える選手として成長するための方法は明らかでない．しかし，今後日本チームがさらにレベルアップしていくためには，絶対に避けて通れない部分である．ショートの予選では，世界のトップ選手たちは意外な脆さを見せた．これは彼らが日本の多くの選手と別のオリエンテーリングをしているからかもしれない．案外ヒントはそんなところにあるのかもしれない．

個人の努力だけでなく，組織的なサポートも必要であろう．フィンランドまでの2年は，それを模索する重要な舞台になるはずである．ワールドカップやそれに関連したトレーニングなど，居ながらにしてトップ選手と競い合う機会が与えられるこの2年間を有効に利用していきたい．

オリエンティア諸氏のさらなる援助をお願いしたい．

女子チームコーチ報告

山岸 倫也

今回の女子日本代表チームは，世界選手権出場経験の豊富なベテラン選手がチームを去り，新しい顔ぶれになった．初出場の選手が2名（三好と落合），2回目の選手が2名（田島と金並）の若いチームである．しかし，誰もが海外遠征3回目以上の経験を持っていた．また，今回は国内予選の方法を変更して優勝者の106%のタイムで走った選手を代表選手としたことにより，チームのレベルが均一化され，選手の自覚を高めることに成功した．そして，4人の選手がそれぞれ独自のアプローチ（主に技術的な方法論）で，ほぼ同じ競技レベルに達していたので，スコットランドでどんなレースをするか期待された．

チームが若かったこともあり，今回は順位など絶対的な数値目標は設定しなかった．代わりに相対的な目標として優勝者の130%のタイムで走ることを選手に課した．この130%という数値は，ほぼ予選通過のボーダーラインに相当する．国内のトレーニングでは日本の男子選手を女子のトップ選手に見立てて，彼らの130%で走るトライアルを何回か実施したが，最速レッグでは達成できてもレース全体では140%のレベルにとどまった．世界選手権のレースでもこの達成レベルは同様で，日本チームのベスト選手のタイムは優勝者の140%に相当した．予選は通過できなかったが，スコットランドの森で日本と同様のレースをできたことを肯定的に評価したい．

それぞれ選手のアプローチと結果についてコメントしよう．

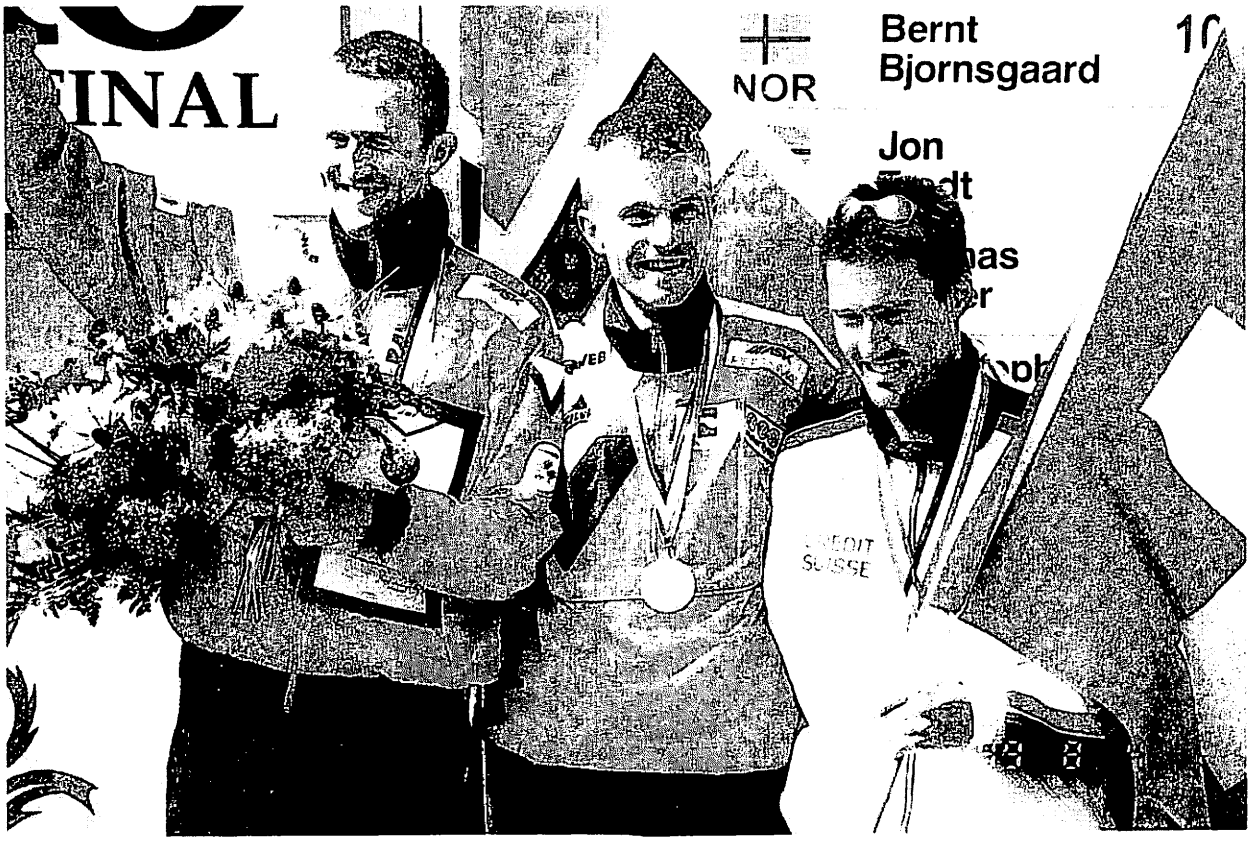
三好は武器は走力だ．巡航スピードはほぼ130%に到達している．プランニングが曖昧なためにアタックが不安定で，いざというときに頼りになる技術がない（と自分で思っている）ために，ミスからの立ち直りに手間取った．

落合はプランニングはしっかりしており，それがショートとリレーでの成功につながった．しかし，もっと早く走れないと140%の壁は超えられない．

田島は地図読みのレベルはしっかりしているが，体力がないため，それをタイムに結びつけられないでいる．我慢して最短距離を走るよう意識したリレーでは成功したが，やはりもっと早く走れないと140%の壁は超えられない．

金並は現時点ではおそらく最もポテンシャルが高いはずだが，アタックでの不安定さを克服できなかった．金並に限ったことではないが，日本国内でのシビアなレースの経験不足が技術的課題の認識や克服を先送りにしてしまっている．

レースの結果からは，総合的にポテンシャルの高い選手（三好や金並）よりも，信頼できるすぐれた武器を持った選手（プランニングの落合，地図読みの田島）が成功したように読みとれる．しかし彼女らの成功も優勝者の140%のレベルでしかない．彼女たちはもっとスピードをあげる必要がある．一方，巡航スピードの高い三好や金並に求められるのはアタックの不安定の克服である．チームの当面の目標である130%を達成するために，走力の向上とアタックの安定化を主要課題として取り組んでいきたい．



クラシックレース男子表彰式

（左から，2位 Carl Henrik Bjorseth，優勝 Bjornar Valstad，3位 Alain Berger）

クラシックレース女子表彰式

（左から，2位 Hanne Staff，優勝 Kirsi Bostrom，3位 Johanna Asklof）

初めての世界選手権　～スコットランドへの道

三好 暢子

４年前の夏，今回の世界選手権開催エリアで開かれた６日間大会に，私は半ば観光気分で参加していた．松林の急斜面に，走りにくいヒースの広がるオープン，難しい微地形エリアなど，毎回違うタイプのテレインに翻弄され，手こずらされ，打ちのめされた．しかしなぜか，すごく楽しかった．ひどい目にあったはずなのに．スコットランドは私の中でとても印象のいい場所になった．そのときは４年後に日本代表として再びこの地を訪れようとは思ってもみなかったのだが．

１．切符は手に入れた

４年前にはＷＯＣなど夢の世界と思っていた私が，ＷＯＣへの切符目指して全日本の，そしてセレクションのスタートに立つことになった．秋のシーズンから常に緊張し続けて，やっと迎えた３月の全日本大会．この大事な大会に私は，４月のセレクションにつながる走りをしよう，という姿勢で臨んだ．結果はなんと優勝．思いがけず早くにＷＯＣへの切符を手にすることができたのだった．

２．合宿

２本のセレクションを経て，すべてのメンバーが出揃った．そして４回の国内合宿．すべての合宿でＥカードを使い，実際のレースにおける距離や登距離を意識したレース形式の練習を行った．そこでは選手同士緊張感あふれる戦いをすることができたし，レース後みんなの話を聞くことによって，それぞれのオリエンテーリングスタイルをある程度知ることができた．代表選手の合宿ということでハードなのを覚悟していたが，体力的にはそれほどきついと感じなかった．ただ技術的な課題がどんどん明らかになり，しかも初代表で舞い上がっていたこともあって，頭の中はいつもパンクしそうだった．

３．トレーニングキャンプ

７月後半，私たちはいよいよ現地スコットランドへ乗り込んだ．まずはインバーネス南西のアビーモアという町を拠点に，トレーニングを行った．４年ぶりのスコットランドの森は，楽勝！とまではいかないけれど，自分のやり方が十分通用した．４年前とは大違いだ．１週間のキャンプで７つのテレインに入ったが，いろいろなタイプがあって，毎日わくわくしながら山に入った．物価が高いということもあり，宿泊先のロッジでは自炊生活だったが，交代で（もちろん男子も！）食事を作ったり後かたづけをしたり，メンバーの普段は見られない姿が，なかなか興味深かった．自炊生活はインバーネスへ移ってからも続いたが，負担になるというよりはむしろ，生活にいいリズムを与えていたように思う．

４．大会を終えて

世界選手権は，すべてのレースでミスを連発して終わった．満足な結果は残せなかったが，得たものはたくさんある．何より，練習で毎日山に入っても，どんなにひどいレースをしても，いつもオリエンテーリングが楽しくて仕方がなかった．こんなにオリエンテーリングを楽しいと感じたことは，今までなかったかもしれない．やはり４年前の印象は，間違っていなかった．スコットランドのオリエンテーリングは，本当に楽しかったのだ！

クラシックレース予選（男子）

松澤 俊行

1999年８月２日．世界選手権初レースを迎えた日である．コンパスを手にしてから８年，早くはないが遅過ぎもせずやってきたその時のことを振り返りたい．

7月29日のテストレースでチームメイト2人に5分以上の遅れを取った．時間を掛けて丹念に予選通過を目指してきた，その事実に裏付けられた自信が揺らいだ．さて，どう初レースを戦えば良いのだろう．「無難な走り」では通過は見込めまい．だったらギャンブルに出るのか．それも違う．

レース前の数日間，迷いの心境にありながら，日本に向けて宛てたハガキに記していたコメントを思い出してみる．

「丁寧で力強い走りをします」

「初々しさ80%，図々しさ20%の走りをします」

「どんな結果になっても，それは自分のレースです」

どう書くべきかに頭を悩まし，しばしば本心を偽ってみることも，気持ちの整理に役立ったのかもしれない．ともかく，初レースのスタート枠の中にいた自分は，まさに自分のレースをしようとする自分だった．

1番，道走り．ゆとりを持って良い手続きの癖をつけるのには格好のレッグだった．そのままリズムを維持して中盤を越える．また，道走りがやって来る．地図からは，後半がそれまでより走りやすそうに見えた．ところが・・・．

一帯に広がるヒース（低潅木）に集中力が奪われた．不満な，緩んだ動きが2レッグ続いた．「通過まであと3分．まあ，惜しかったんじゃないかな」とゴール後言われている情景が頭をよぎる．萎えそうになる気持ちを奮い立たせて先を急いだ．しかし，「もう少し続けたい」と思う頃にはゴールはすぐそこに迫っていた．

最終的には目標と5分以上の差が付いた．考えてみれば，ミスをした瞬間の自分もまさしく現在の自分である．満足はしなくても，納得はしている．5分とは，想像力をかき立て，これから先2年の練習に身を入れるためには適切な数字かもしれない．

世界のトップ選手達のレース前後の様子を眺めながら，「この人達は自分より遥かに多くの汗を流し，遥かに多くの挫折を経て，遥かに多くの選手からチャンスを奪って来たに違いない」と考えた．つくづく自分もまだまだこれからだな，と感じる．

皆様のご支援に感謝しつつ，2年後に目標達成の報告をすることをこの場で誓いたい．

本当にありがとうございました．力を付けます．

クラシックレース予選（女子）

金並 由香

前回のノルウェーの世界選手権に引き続き，今回2回目のスコットランドでの大会参加でした．ですが，私はもったいなくも前回の経験をうまく今回につなげることができませんでした．

国内予選がはじまる時期になっても「何を目標として世界選手権に行きたいのかわからない．こんな気持ちで走る意味があるのだろうか」という思いが強く，一戦目はDNSしてしまいました．

結果として二戦目を走り，推薦でスコットランドに行けることとなったわけですが，曖昧なままの自分を抱えてのトレーニングの日々でした．ただ，大学からはじめて10年目になるこの時期に，今後自分がどのような目標を持ってオリエンテーリングを続けていくのかを考えることは必要なことだとは思いながら．これについてはまだ曖昧なままです．ですが，今回の世界選手権を走って「やっぱりオリエンテーリングが好きだ．」とうことを再確認しました．まだまだやれることがたくさんあります．

…と，予選と関係のないことから入ってしまいました．

このように不謹慎ながらも曖昧な目標設定で臨んでしまった世界選手権でしたが個々のレースに臨んでは小さな目標は持っていました．クラシカルについては「ミスをしても焦らず淡々とレースをする．」というものでした．技術的にはスコットランドのテラインはそれほど特殊なものは要求されないので「やることをやる」という点だけ気をつけていました．コンパスを見る，ルートプランをたてて動くなど．

女子の中で一番遅いスタートでゆっくりとスタート地区に向かいました．バスを降りると何となく異様な雰囲気．ミジーというぶよみたいなものが飛び回っていたのです．この虫には随分悩まされましたが，この日はまだそれほど気にもならず落ちついてスタートに向かうことができました．

同時スタートの人につられて初っ端からちょっとしたミスルートをとってしまいもしましたが，全体的には目標通りの淡々としたレースができました．体力的にもそれほどの苦痛も感じませんでしたし．そして，このクラシカルが今回の世界選手権での私の唯一のまともなレースとなってしまったわけですが，このようなある意味消極的な目標で走ったレースの結果を予選通過タイムと比べてみてちょっと驚きました．予選通過という目標を持つことは夢ではないのだと思えたのです．これはちょっとしたショックでした．いい方向での．

今回のクラシカル予選を走るまで私は予選通過を手の届かない遠いものと考えていました．でも，そんなことはないのだと今は思っています．自分のできる最高のものを世界の場で出すことができれば…この「れば」を実現するためにがんばります．他の女性のみなさんも一緒にやっていきましょう．みんなもいっしょです．

最後になりますが，いろいろと支援応援して下さったみなさま，本当にありがとうございました．もっとわくわくしてリザルトを見ることができる，そんな走りをめざします．

クラシックレース決勝観戦記

加賀屋 博文

今回のクラシック決勝もやはりタフになった．男子15.8km，650m．ウイニングは規定の90分を大きく越える97分，女子も規定70分に対し77分で，さすがに後日主催者がごめんね，と謝罪するほどだった．

会場からは，最終の一つ前のコントロールに登ってアタックするところから選手が見えるようなレイアウトになっていたが，僅かコンタ2本の登りにもかかわらず，ほとんどの選手がへろへろになりながらコントロールをチェックしていた．唯一，とあるイタリア選手だけが驚異的なスピードで走っていたのには驚かされたが．

しかし，そのへろへろになった選手たちは，2日前，日本選手が全滅したタフなヒースに覆われた予選テレインをきっちり走りきっている強者たちなのだ．改めてクラシック決勝の厳しさを思い知らされてしまう．

テレインは川で大きく3つの山に分断されており，山と山をつなぐためにコースはルートプランの難しさよりはむしろタフさを要求するものになっていた．それでもすぐ隣で行われた予選よりは遙かに競技性の高い部分を使っていて，やはり，決勝がメイン，予選はおまけというのが感じさせられてしまう．このコースの素晴らしさも苦しさも実際に走った者にしか与えられないのだ．

男子は，実力者ビヨルナー・バルスタッド(Norway)がついに勝った．前半からリードを奪い，

そのままトップを譲らず2位に3分差をつけるという完勝だった．Norwayは5人全員が上位8位を入る活躍で，タフなテレインにおける強さをまざまざと見せつけた．前回チャンピオンのペター・トーレセン(Norway)は6位，予選は速いジミー・ビルクリン(Sweden)は4位でまたも表彰台を逸した．

実は観戦していて今ひとつ盛り上がりに欠けたように感じた．その原因は，やはりミスターオリエンテーリング，ヨルゲン・モルテンソンの姿がなかったためだろう．怪我で今大会一度も走らなかったが，とうとう引退してしまった．91年から4大会連続で1，2，1，2位という成績で，順序からすると99年は三度目の優勝かと期待されたが，その雄姿を目にすることはなかった．ペターも今回が最後だというし，これまで大会を盛り上げた名選手を失うのは寂しい限りである．しかし，新しい世紀には新しい力が台頭してくることになるだろう．そうでなければ発展はない，世界も日本も．

女子は混戦．前回チャンプのハンナ・スタッフ(Norway)が秒差の2位．勝ったのはクリシ・ボストロム(Finland)．最後の最後でスピードを落としきれずに1分ロストしたが，それまでのリードで辛くも逃げ切った．3位にはクリシの妹のヨハンナ・アスクロフ(Finland)が入った．妹が表彰台に立つとき，自分のこと以上に喜んでいる姉の姿が印象に残った．地元のイベット・ベイカー(Great Britain)は4位に終わったが，彼女がゴールするときの歓声はもの凄いもので，やはり地元選手の活躍は大会の盛り上げに欠かせないものなのだ．女子はFinlandの強さが目立ち，Swedenは男女ともにパッとしなかった．

レース終了後，男子チームの数名は決勝テラインへ入った．フラッグは既に撤収されていたものの，コントロール付近に残る足跡から，数時間前のトップ選手の熱い走りが感じられてくる．スタート地点から1番，2番へと同じレッグを走ってみる．今年もこの舞台を走れなかった悔しさと，次回こそは本番で走っているというイメージ抱きながら・・・・・．

ショートディスタンス予選（男子）

藤城 公久

スコットランドのWOCでは，非常に貴重な経験をさせていただきました．残念ながら決勝に進出できませんでしたが，”決勝へ進むためにはどのようなレースができればよいのか”，具体的なイメージが作り出せたことは大変大きな収穫です．

トレーニングキャンプ中は，“地図と自分の描くイメージとのギャップが大きい”，“足場が悪く歩測が利用しきれない”，“針が止まりにくく直進が信用しきれない”，等さまざまな不安が噴出しスコットランドのテレインに全く対応できていませんでしたが，ショート予選直前のWOC併設レースで，それまでの失敗を反省しての対策が功を奏してか（地図の精度が格段によくなったせいもあると思う），自信を取り戻すことができ，本番前になんとかスコットランドでの自分のスタイルを確認できました．

本番のレースは，一ヶ所ロングレッグでルートミス＆不安になりトロトロ進んでしまい一分以上のタイムロスをしてしまいましたが，それ以外はリズムよく予定通りの手続きでオリエンテーリングができました．

今回のショート予選で自分で高く評価しているのは，“目指す特徴物までの直進と歩測”をしつこく，我慢強く遂行できたことです．さらに，自分でちょっとレベルアップしたなと認識できたのは“コントロール付近の地形の頭へのインプット”，“コントロールがなかったときに落ち着いてリロケート”ができたことです．“直進と歩測”と相まってよく機能していたと思います．

現時点で，今後の自分の課題として考えているのは，“ルートチョイスは視野をひろくもつ”，“直進と地形利用の組み合わせに融通をきかす”，“不整地走トレーニングの強化”です．どれもさらなるレベルアップには欠かせないでしょう．

最後になりましたが，賛助会員になって下さった方々，チャリティー大会に参加・運営して下さった方々，現地で応援して下さった方々，多くのサポートをして下さったスコードの方々，本当にありがとうございました．今回の経験は必ず今後にいかします．

ショートディスタンス予選（女子）

落合 志保子

私のショートはクラシックの失敗なしでは語れない．クラシックでは周りの選手の動きばかり気になり，中盤から全くレースにならなかった．クラシックのレース後３日間は，なにがいけなかったのか，なにが足りなかったのかを考え，それからショートではどのような走りをするのかをイメージすることに費やした．初めの２日間は，アナリシスを書き原因を探った．倫也さんや村越さんに見てもらって，「きちんとプランを立てることそれに尽きる」とショートですべきことがはっきりわかったものの，具体的にショートで自分の走るイメージがまったくわかず，不安ばかりが募った．今の私では技術がないから戦えないとか，スピードも足りないし・・といった，否定的なことばかりが頭に浮かんできて，ともすれば次回に逃げそうになる自分と必死に向き合っていた．

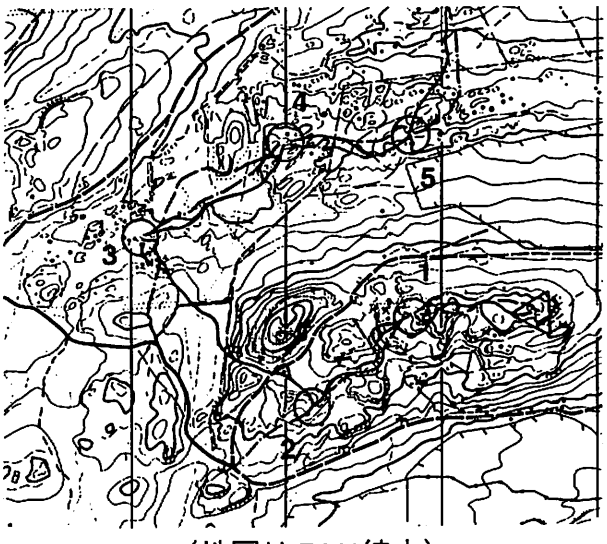
結局レース当日までその不安は消え去ることはなかったけれど，「今できることをやるんだ，信じるのは自分だけ」と何回も言い聞かせながらアップを始めた．その時にふと「アップしているのに，よけいなことばっかり考えている．」と気付いたのだ．確かクラシックでもアップ中に周りの選手の動きを気にして自分のことに集中していなかったではないか．今は，ストレッチをしてここの筋肉をのばしている，何分までジョギングをする，歩測を確認しておこう，今はテーピングをする，アンカーは２本．といった具合にとにかく自分のしていることだけに集中した．国内ではここまで神経質にやらない．でもその時の私はそれくらい極端にしないと自分のことに集中できなかったのだった．

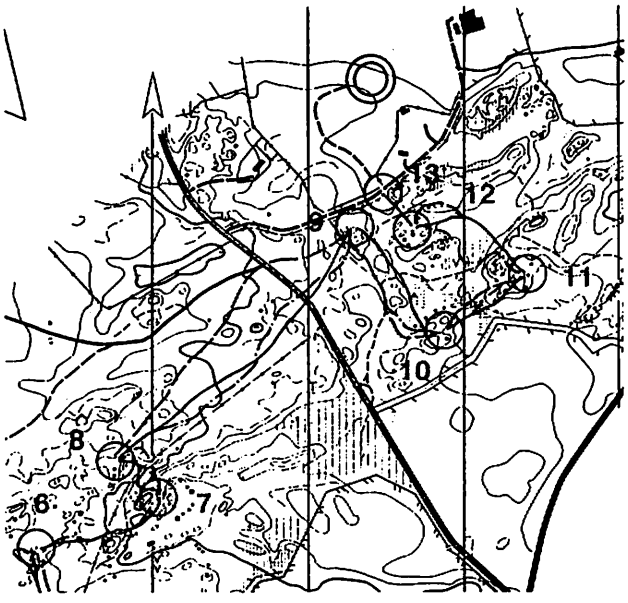
ショートは４人同時スタートである．それなのにスタートしたら他の選手がどっちへ行ったのか，いつフラッグを離れていったのかまったく気がつかなかった．地図を読んで，コンパスをセットして歩測をしながら進んだ．一番の手前の大きな沢から，コントロールはあそこと思いながら近づくとちゃんとフラッグがあった．なんだいけるよ．と少し安心しながら２番へ．目の前に現れてきた．私でもまっすぐ行けるんだ．少しずつ自分を信じる心を取り戻しながら，ひたすら真っ直ぐ進んだ．中盤の勝負所のロングレッグでかなり大きな山越えをしてしまいルート的にはミスしたものの，自分が決めたことだから仕方ないと思うことができ，淡々とレースを進めゴールした．

課題はたくさんある．でもそれは，今の力できちんとレースをしないと見えてこなかったことなので，その課題がわかったことが大きな収穫だったと思う．ようやくエリート選手への門をたたいた気分です．もっと速くなりたいと思っている以上これからはちゃんとがんばれると思います．ご指導，応援ありがとうございました．

Women - Short Final - Dallaschyle Wood - 7th August 1999
Winner: Yvette Baker "More in control than the others, especially after passing Hanne Staff half way round. I was smiling and laughing as I crossed the line."

1	Baker Yvette					GBR					:25:55				
	01:47	03:25	06:44	08:44	10:20	14:43	16:03	17:26	20:17	21:47	23:02	24:31	24:57		
	01:47	01:38	03:19	02:00	01:36	04:23	01:23	01:13	02:51	01:30	01:15	01:29	00:26		
	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*		
2	Bohm Lucie					AUT					:26:57				
	01:56	03:29	06:52	09:13	10:59	14:56	16:23	17:43	21:01	22:25	23:34	25:33	25:59		
	01:56	01:32	03:24	02:21	01:45	03:58	01:27	01:17	03:21	01:27	01:06	01:59	00:26		
	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*		
3	Schmitt Gran Frauke					GER					:27:48				
	01:51	03:36	07:10	09:26	11:07	15:20	17:02	18:21	21:35	23:12	24:26	26:18	26:46		
	01:51	01:45	03:34	02:16	01:41	04:13	01:42	01:19	03:14	01:37	01:14	01:52	00:28		
	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*	00:03*		





（地図は 70%縮小）

ショートディスタンスレース表彰式
（男子優勝 Jorgen Rostrup、女子優勝 Yvette Baker）

ショートディスタンス決勝観戦記

山口 大助

1991年にはじまったショートも今年で5回目．ショートならではの速い展開は観戦するほうとしても面白いものだ．

朝，会場に着くとスペクテーターコントロールとラスポがかなり近い位置にあるのにびっくり．その辺りに多くの人が集まっていた．さあ，ぽつりぽつりと選手がゴールに帰ってくる．

男子ではやはり予選で1レッグ7分ミスをしながらも通過したTore Sandvikが27:28，女子ではMarlena Janssonが27:50のタイムを出し，彼らのタイムが基準となりレースは進んでいった．しばらくタイムは膠着状態が続いたが，女子のほうでなんとGERのFrauke SchmittがJanssonのタイムを2秒上回り観衆の度肝を抜く（彼女のゴールまでの走りもすごかった）．その後しばらく彼女がトップであったが20分後，前回チャンピオンAUTのLucie Bohmが1分近くタイムを更新し，前回の結果がフロックではないことを証明した．一方男子では，地元GBRのSteven Haleがようやくトップタイムを更新し，会場は多いに盛り上がる．しかし，すぐにPetter Thoresenに抜かれてしゅんとしているところに，女子のクライマックスが一気に訪れる．地元GBRのYvette Bakerがさらにタイムを1分以上更新してゴールに向かっていく（Hanne Staffらを一気に置き去りにしていってるよ！）．会場のボルテージは女子のレース結果に対し最高潮に達していた．実況は彼女のことばっかり騒いでいる．男子の方は何もないかのような扱いだ．だがほぼ同時刻に男子ではよりドラマティックなゴールを迎えようとしていた．前回チャンピオンのJanne Salmiがタイムを更新していたがそれをNORの新星，Jorgen Rostrupが30秒近く更新していたのだ．結局，その後このタイムは更新されずに静かに男子の新チャンピオンは決まっていった．彼は「23歳の初の世界選手権で優勝し一躍ヒーローとなったPetter Thoresenでもシニアレベルの初のシーズンは世界選手権代表レベルには達していなかったが…」という感じで言われていたが，まさしくgreatest talent of Norwegian orienteeringであることを証明したのだ．

表彰式でもやはり，Yvetteが主役といった感じではあったが，今回怪我のためレースを走ることなく世界のレースから引退することとなったJorgen Martensonがプレゼンターを勤め，彼から20歳の新チャンピオンにブーケが手渡されたときは新たなJorgenへの世代の交代を感じさせ非常に感慨深いものがあった．今から21年前の78年の世界選手権でデビューした彼に因んでつけた名前なのかなと考えずにはいられない．

男子リレー

鹿島田 浩二

WOCのリレー形式はここ数年試行錯誤をしている．今回も，1，4走50分，2，3走40分という今までにない変則ルールで実施された．このコースプロフィールに備え，日本チームは，鹿島田－藤城－松澤－村越のオーダーで望む．経験豊富な村越・鹿島田に加え，初出場ながらクラシカルとショートでそれぞれいいレースをした松澤・藤城が抜擢された．チームの目標は前日の夜の分析によって17位．選手のポテンシャルを冷静に判断したいい目標だ．9:40分男子がスタート．オープンと森が混在しモレーン特有の凹地とピークが入り乱れるテクニカルでトリッキーな部分も多いコースだ．しかし上位国は無難にこなし，スイスを除けば有力チームはほぼトップと1分差以内に2走にタッチする．2走で抜け出したのはやはりノルウェーとフィンランド．ノルウェーはクラシカル2位のC・H・ビヨルセスとショートチャンプのJ・ロストロップでさえチームから外れるという桁外れに強いチームだ．フィンランドもショートでは2，3，4位を占める強

国である．3位は1分半離れて地元英国．1，2走は若い2人が健闘して大いに盛り上がった．

3走に入るとノルウェーは前回クラシカルチャンピオンP・トーレセンがフィンランドのM・ボストロムを1分以上離して帰ってくる．続いて3位で帰ってきたのはデンマークのC・ヨルゲンセン．1万m27分台の脚力を持ちシドニー五輪も狙う彼は，42分台の驚異的タイムで上位を追い上げた．以下4位はスウェーデン，5位英国と続く．

いよいよ4走だ．ノルウェーはクラシカルチャンピオンのB・バルスタッドで死角はない．1分差で追うフィンランドのJ・サラミはメダル常連の実力者だ．さらに3分差で追う3位デンマークはA・モーゲンセン，4位のスウェーデンもエースJ・イバーソンで一発逆転を狙う．レースはいよいよクライマックスに達した．皆の注目する中，パブリックコントロールに最初に現れたのはやはりノルウェーであった．後半もそのままトップでウイニングラン．ノルウェーは実に10年ぶりの王者復活である．4人タイムを揃えての見事な勝利は，強いノルウェーの時代が再び到来したことを告げていた．

2位はまたしてもフィンランド．3年連続アンカーとして2番目にゴールしたJ・サラミは2年前と同じように悔しい結果となった．3位はスウェーデン．英雄J・モルテンソンが遂に引退し，替わりに38歳のH・エリクソンが健闘した今回であったが，上位2カ国との実力差は縮められなかった．4位は1走で出遅れたものの2走以降で追い上げたスイス．5位は地元英国．アンカーのエースS・ヘールはあるいは優勝も可能な位置でのスタートだったが，残念な結果に終わった．そして今回6位リトアニアの男女アベック入賞は特筆すべきことである．才能ある選手が多くいることは知られていたバルト三国であるが，今回の入賞でその真の実力が示されたといえよう．

さて，日本チームの成績に目を移そう．クラシカルの不調で不安を抱えてのスタートであった鹿島田はレースを通じてミスを最小限に押さえ，短いパターンを引いた運もあって，18位で藤城にタッチ．順位的には今一つであるが12位と1分差でのゴールは評価できる．もちろん，改善の余地はまだあるのであるが．ショートで好成績を収めながらも，歩測とコンパスを重視する自分のOLが通用するか心配していた藤城は，予想を上回る好タイムで18位の順位をキープして松澤にタッチ．それにしても初めてのWOCで実力を出し切った藤城は尊敬に値する．3走松澤は，前半でややミスをしたようだ．長いパターンを引いたこともあってすぐ後ろでスタートした数人の選手に抜かれ22位でパブリックコントロールを通過，しかし後半は持ちこたえて22位のままアンカー村越にタッチする．アンカー村越は，5分前のラトビア，2分前のアイルランドを追ってのスタート．慎重なレースでミスこそ押さえたが，その分スピードも押さえてしまったと本人は反省している．それでもパブリックコントロールでは順位を一つあげ，アイルランドより先に21位で通過，そのままの順位をキープしてでゴールした．日本チームの成績はトップノルウェー＋49分43秒の4時間11分33秒で21位，対トップ比は125％．残念ながら目標である17位は達成できなかった．17位オーストリアのタイムは3時間58分8秒．各人が自分のポテンシャルを充分に引き出せば達成可能なタイムである．

10年以上前，「村越を4人並べれば世界と互角に戦える」と言われた時代がある．90年に入ってなんとか2人は並べる?ことができた．そして今回，ようやく3人目をようやく並べることが出来たといえよう．これは，個人の能力に頼ってきた今までとは違い，90年代に十分とは言えないながらもNTとして組織的に選手の育成をしてきた効果が出たのではないか．残念ながら今回は目にみえた数字での向上は見られなかった．結果に繋がるにはまだまだ努力と工夫が必要であろう．しかし，ポスト村越・鹿島田時代へ脱却をする上で今回のWOCが一つのターニングポイントになるのではないだろうか．

女子リレー

田島 利佳

今まで続いていた好天候がうそのように，いつ雨が降り出してもおかしくないようなWOCウィーク最終日，国を挙げての大レース，リレーの日を迎えた．

最終コントロールは尾根上のがけのにあり，選手が急斜面を下ってフィニッシュにむかうところが，また会場西側にはスペクテーターズコントロールがコースのだいたい2/3においてあり，森の中から選手が現れてくるところ，通過していくところを見ることができる．1カ所にいて，スタート，中間，フィニッシュを見ることができるなんて，なかなか観客を楽しませようとしているではないか．

女子のスタートは9:30，地元イギリスはショートディスタンスで優勝したエース，イベット・ベーカーを4走にはいし，優勝を狙うぞとばかりに万全な体制で，そして観客も盛り上がっている．それに続く，ノルウェー，フィンランド，スウェーデン，スイスなどがどう絡んでくるかが見どころだろう．

我が日本女子チーム1走は金並．前回の世界選手権でも1走をまかされ，力強い走りでチームを盛り上げた．今回もコンディションの良さと勢いをまかされての大役である．日本女子チームの目標は他国と競うことができるようになること，カナダ，スペイン，アメリカ，アイルランドと競うことができたら．大した目標ではないと思われるかもしれないが，私たちにとってはとても大きな，そして意味を持つ目標である．

さあ，いよいよスタートだ．23チームの色とりどりのO-スーツを着た選手達が駆け出していく．どんな展開になるのか，スペクテーターズ・コントロールにはどの国が一番に現れるのか，観客達は息をのみ，ときには興奮して待っている．しかし，予想通過タイムになっても，森からはどこの国一つも現れてこない．いったいどうしたというのだろう，何が起こっているのだろうか？？？

やってきた，最初に現れたのはスイスだ．単独で現れた．予想通過タイムから遅れること6分！！相当の荒れたレースになりそうである．その後は，パックで有力チームが次々と現れる．そして，最初にフィニッシュに現れたのはなんとリトアニア！！スペクテーターズコントロールで後続を大きく離したスイスは，その後崩れてしまったのだ．なんて油断ならないテレインとコースなのだろう，その後の展開を思うと，緊張と興奮が入り交じり，複雑な心境になった．

次々と2走の選手がスタートして，もうそろそろ金並がきてもいいだろうと思い始めてから少し遅れて，彼女は森の中から現れた．とてもつらそうに，しかし追い込んで走っている．そして，後半を無難にこなし，2走，三好につないだ．三好は，今回のWOCが初出場ながらも持つべくタフな体力さで乗り切ってきた．彼女にとって，テレインの情報がなくてもスタートしていくのは，逆にプラスにオリエンテーリングをすることになるのだろう．

さて，トップ集団に話を戻そう．2走から3走タッチの段階で，お待たせしました，盛り上げますよとばかりに，地元イギリスがトップにたって帰ってきた．その後を，フィンランド，ノルウェー，リトアニアが2分の間にひしめき続く．いよいよ，3，4走エース区間にかけておもしろくなってきたではないか．イギリスの3走は，安定感抜群の，ジェニー・ジェイムス，フィンランドはクラシカルチャンピオンのキルシー・ボストラム，ノルウェーは，クラシカル5位のハンナ・サンドスタッド．いよいよ会場を魅せ場を作るべく，豪華なメンバーが走り出していく．そして，3走から4走タッチ時点でトップで帰ってきたのは，なんとノルウェー！！大逆転である．そのあとにフィンランド，スウェーデン，イギリスといずれも数十秒差で続く．それにして

も，いかに今日のレースが波乱含みで荒れているというのがわかるだろう．

その間に三好はミスをいくつかしたものの，なんとか踏ん張って帰ってきた．フィニッシュレーンを駆け抜ける姿は力強く，これから先の彼女の成長を思うと頼もしい．この時点で日本女子の順位は22位．前を行くアメリカと15分の差が付いていた．

3走，田島はロングレッグでのピースのタフさ，テレインのタフさ，テクニカルな情報を金並より聞いていたこと，倫也コーチから「リレー終わって1週間寝込んでもいいから，寿命を5年縮めるつもりで，とにかく負けずに走るんだ！！」と言われことなどで，心してスタートしていく．1カ所6分にわたるミスをしてしまったが，その他はほとんどノーミスで，やっと自分らしいレースができたのかしらと思うできではあった．後半アイルランドをかわし，そしていつのまにかアメリカを抜いていたようだ．4走タッチ時点で日本チームの順位は20位にあがった．

この間に，優勝はノルウェーに決まった．最後までフィンランドとデットヒートを繰り広げていたが，前回WOCクラシカルチャンピオン，今回2位のハンナ・スタッフが逃げ切った．地元イギリスのエース，イベット・ベーカーは途中スウェーデンに追いついたのだが，最後にかわされてしまい結局4位に終わった．印象に残るのは，6位に（男女とも）入賞したリトアニアである．そんなに目立つ選手がいないものの，4人の安定した走りで，6位に滑り込んだ．

日本の4走，落合は，彼女らしいオリエンテーリングができるようなシチュエーションでの4走起用で，そしてその通り，確実にプランニングをして彼女のスタイルを守って，現時点でのベストなオリエンテーリングをしてレースを終えた．途中，1分後からやってきたアメリカのペギーと最後の最後まで争っていたようだが，今回のチームの目標は争ってかわすこと・・・・・ではなかった，だからこそ，彼女は自分のオリエンテーリングができ，良いレースができたのだと語っていた．

リレーは，端的に，その国の強さをみるのにわかりやすい．男女とも今回はノルウェーが優勝し，強さを見せつけた．なりひびく国歌は，異国人の私たちでさえ，うろ覚えしてしまうものであった．さて，これからの日本はどうしていったらいいのだろう，個人の努力はもちろん，チームとして，全体として，取り組む課題がたくさんまっている．幸いにこの数年は日本での国際大会がいくつか用意されている．国歌まではいかないにしても，表彰台に日の丸がなびくよう，そんな印象を観ている人達に与えることができるのなら，それはとても嬉しいことである．夢を現実に，そして実りあるものにしていこう．

1999年オリエンテーリング世界選手権大会 全成績

（1）クラシックレース予選（8月2日）

○男子クラシック予選1組

Rank	Time	Name	Team
1	01:02:41	Petter, Thoresen	Norway
2	01:02:47	Bjornar, Valstad	Norway
3	01:03:04	Kenneth, Cederberg	Finland
4	01:04:49	Michael, Wehlin	Sweden
5	01:04:51	Carsten, Jorgensen	Denmark
6	01:05:38	Janis, Ozolins	Latvia
7	01:06:21	Johan, Ivarsson	Sweden
8	01:07:13	Michele, Tavernaro	Italy
9	01:07:31	Edgaras, Voveris	Lithuania
10	01:07:38	Janne, Salmi	Finland
11	01:08:01	Bernt, Bjornsgaard	Norway
12	01:08:34	Nerijus, Sulcys	Lithuania
13	01:08:53	Janusz, Porzycz	Poland
14	01:09:11	Michal, Jedlicka	CzechRepublic
15	01:09:24	Thomas, Buhrer	Switzerland
16	01:09:25	Mikhael, Manleev	Russia
17	01:09:29	Rudolf, Ropek	CzechRepublic
18	01:10:28	Alistair, Landels	New Zealand
19	01:10:48	Frantisek, Libant	Slovakia
20	01:10:51	Fabien, Pasquasy	Belgium
21	01:12:00	Erik, Aibast	Estonia
22	01:12:11	Oleksandr, Mykhaylov	Ukraine
23	01:12:19	Thomas H, Nielsen	Denmark
24	01:12:20	Jamie, Stevenson	Great Britain
25	01:12:52	Olle, Karner	Estonia
26	01:12:56	Ingo, Horst	Germany
27	01:13:28	Andreas, Polzl	Austria
28	01:13:40	Daniel, Giger	Switzerland
29	01:14:05	Greg, Barbour	New Zealand
30	01:14:30	Andras, Simon	Romania
31	01:16:05	Grant, Bluett	Australia
32	01:16:21	Rolf, Breckle	Germany
33	01:16:38	Oskars, Zernis	Latvia
34	01:16:46	Jurgen, Egger	Austria
35	01:17:01	Stephen, Palmer	Great Britain
36	01:19:22	Pierpaolo, Corona	Italy
37	01:19:34	Vyacheslav, Mukhidinov	Ukraine
38	01:19:43	Slawomir, Wozniak	Poland
39	01:19:44	松澤俊行	日本
40	01:21:49	Eddie, Wymer	Australia
41	01:24:11	Nick, Duca	Romania
42	01:25:53	Jozef, Wallner	Slovakia
43	01:26:00	Douglas, Mahoney	Canada
44	01:26:02	Ferenc, Viniczai	Hungary
45	01:26:57	Fabrice, Vannier	France
46	01:27:04	Teodor, Todorov	Bulgaria
47	01:27:15	Colm, O'Halloran	Ireland
48	01:27:58	James, Logue	Ireland
49	01:28:17	Peter, Vonyo	Hungary
50	01:30:13	Eric, Bone	United States
51	01:32:41	Wil, Smith	Canada
52	01:35:44	Robert, Theiss	Belgium
53	01:38:09	Alexander Robert, Morgan	HongKong
54	01:41:15	加賀屋博文	日本
55	01:43:13	Alberto, Minguez	Spain
56	01:45:12	Daniel, Gutman	Israel
57	01:49:29	Mark, Heikoop	Netherlands
58	01:51:14	Mark, Everett	United States
59	01:55:02	Dan, Chissick	Israel
60	01:57:55	Colin, Dutkiewicz	South Africa
61	02:16:51	Ruedi, Siegenthaler	South Africa
DSQ	01:22:56	Pedro, Pasion	Spain

○男子クラシック予選2組

Rank	Time	Name	Team
1	01:04:32	Jimmy, Birklin	Sweden
2	01:06:24	Timo, Karppinen	Finland
3	01:06:35	Alain, Berger	Switzerland
4	01:06:37	Steven, Hale	Great Britain
5	01:07:00	Christoph, Plattner	Switzerland
6	01:07:43	Hakan, Eriksson	Sweden
7	01:07:48	Allan, Mogensen	Denmark
8	01:07:54	Mats, Haldin	Finland
9	01:08:04	Jon, Tvedt	Norway
10	01:09:08	Jon, Duncan	Great Britain
11	01:09:35	Sixten, Sild	Estonia
12	01:10:14	Marius, Mazulis	Lithuania
13	01:10:15	Yuri, Omelchenko	Ukraine
14	01:10:26	Carl Henrik, Bjorseth	Norway
15	01:11:01	Marian, Davidik	Slovakia
16	01:11:21	Flemming, Jorgensen	Denmark
17	01:11:22	Michal, Horacek	CzechRepublic
18	01:12:09	Tarvo, Avaste	Estonia
19	01:12:22	Sylvain, Mougin	France
19	01:12:22	Tom, Quayle	Australia
21	01:13:48	Libor, Zridkavesely	CzechRepublic
22	01:14:24	Robert, Banach	Poland
23	01:14:28	Bruce, McLeod	New Zealand
24	01:14:58	Jozef, Pollak	Slovakia
25	01:15:39	Darren, Ashmore	New Zealand
26	01:15:40	Guntars, Smitins	Latvia
27	01:15:59	Thomas, Krejci	Austria
28	01:17:17	Michael, Thierolf	Germany
29	01:17:34	Svajunas, Ambrazas	Lithuania
30	01:17:48	Igor, Trukhan	Ukraine
31	01:17:49	Carlo, Rigoni	Italy
32	01:18:01	Wim, Peers	Belgium
33	01:18:16	Girts, Vegeris	Latvia
34	01:19:10	Rafal, Krafczyk	Poland
35	01:19:12	Tilo, Pompe	Germany
36	01:20:18	Jose, Garcia	Spain
37	01:20:39	Roberto, Pradel	Italy
38	01:20:55	Norbert, Helminger	Austria
39	01:21:07	Zoltan, Denes	Hungary
40	01:22:53	村越　真	日本
41	01:24:02	Guido, Lenges	Belgium
42	01:24:21	Colm, Rothery	Ireland
43	01:25:23	鹿島田浩二	日本
44	01:26:02	Rob, Walter	Australia
45	01:26:27	Steven, Linton	Ireland
46	01:29:37	Steve, Holmes	HongKong
47	01:30:45	Mike, Smith	Canada
48	01:31:56	Gabor, Domonyik	Hungary
49	01:32:20	Javier, Gomez	Spain
50	01:33:37	Ovidiu Mugurel, Mutiu	Romania
51	01:33:40	Paul Marius, Brabiescu	Romania

52	01:37:27	Joe, Barutigam	United States
53	01:37:40	Joaquim, Sousa	Portugal
54	01:41:40	Matan, Naftaly	Israel
55	01:43:36	Noam, Ravid	Israel
56	01:49:23	Richard, Gathercole	South Africa
57	01:49:39	Alaric, Fish	Canada
58	01:54:42	Peter, Nelson	United States
59	01:58:26	Geoff, Peck	HongKong
60	02:02:12	Gary, De Klerk	South Africa
DNS		Chris, Sievers	Netherlands

○女子クラシック予選１組

Rank	Time	Name	Team
1	:51:17	Birgitte, Husebye	Norway
2	:52:08	Hanne, Sandstad	Norway
3	:52:10	Reeta-Mari, Kolkkala	Finland
4	:52:30	Hanne, Staff	Norway
5	:52:31	Anette, Granstedt	Sweden
6	:54:20	Kulli, Kaljus	Estonia
7	:54:31	Yvette, Baker	Great Britain
8	:54:54	Anna, Garin	Spain
9	:55:34	Vroni, Koenig-Salmi	Switzerland
10	:55:39	Sabrina, Meister	Switzerland
11	:56:56	Gunilla, Svard	Sweden
12	:57:24	Tania, Robinson	New Zealand
13	:57:37	Tracy, Bluett	Australia
14	:57:57	Frauke, Schmitt Gran	Germany
15	:58:03	Danute, Mansson	Lithuania
16	:58:04	Ewa, Kozlowska	Poland
17	:58:54	Ruth, Vaher	Estonia
18	:59:03	Eva, Jurenikova	CzechRepublic
19	:59:26	Anna, Gornicka	Poland
20	01:00:07	Jenny, James	Great Britain
21	01:00:14	Katalin, Olah	Hungary
22	01:00:42	Natasha, Key	Australia
23	01:00:52	Juliette, Soulard	France
24	01:00:56	Liisa, Anttila	Finland
25	01:01:09	Marya, Spasyuk	Ukraine
26	01:01:35	Judith, Keinath	Germany
27	01:02:09	Antonia, Wood	New Zealand
28	01:02:26	Tatiana, Kostileva	Russia
29	01:02:48	Laure, Coupat	France
30	01:02:57	Helene, Hausner	Denmark
31	01:04:18	Agnes, Simon	Romania
32	01:05:15	Rasa, Jaugeliene	Lithuania
33	01:06:38	Ianka, Evans	Bulgaria
34	01:06:39	Renate, Fauner	Italy
35	01:07:06	Michaela, Gigon	Austria
36	01:07:44	Agnes, Wengrin	Hungary
37	01:07:50	Pavlina, Brautigam	United States
38	01:07:59	Toni, O'Donovan	Ireland
39	01:08:05	Sandy, Smith	Canada
40	01:10:12	Silvia, Bertazzo	Italy
41	01:11:37	Tine, Rasmussen	Denmark
42	01:12:48	Barbara, Tobler	Austria
43	01:13:07	Petra, Novotna	CzechRepublic
44	01:13:13	Una, Creagh	Ireland
45	01:13:49	金並由香	日本
46	01:20:40	Iryna, Kupriyanova	Ukraine
47	01:20:49	Marie-Catherine, Bruno	Canada
48	01:25:11	三好暢子	日本
49	01:28:39	Laia, Santamaria	Spain
50	01:34:04	Emilia, Silveira	Portugal
51	01:35:52	Eileen, Breseman	United States
52	01:44:01	Inna, Faingold	Israel
53	01:57:06	Kathy, Kitchin	South Africa

○女子クラシック予選２組

Rank	Time	Name	Team
1	:47:22	Katarina, Borg	Sweden
2	:50:14	Heather, Monro	Great Britain
3	:50:26	Johanna, Asklof	Finland
4	:52:02	Katarina, Allberg	Sweden
5	:52:25	Elisabeth, Ingvaldsen	Norway
6	:53:18	Kirsi, Bostrom	Finland
7	:54:00	Marcela, Klapalova	CzechRepublic
8	:54:31	Giedre, Voveriene	Lithuania
9	:54:39	Nina, Vinnytska	Ukraine
10	:54:44	Ragnhild, Myrvold	Norway
11	:54:51	Jana, Cieslarova	CzechRepublic
12	:54:54	Kim, Buckley	Great Britain
13	:55:33	Alix, Young	Australia
14	:55:37	Brigitte, Wolf	Switzerland
15	:56:45	Dorte, Dahl	Denmark
16	:57:05	Maret, Vaher	Estonia
17	:57:07	Ildiko, Kovacs	Hungary
18	:58:09	Nicki, Taws	Australia
19	:58:27	Kaethi, Widler	Switzerland
20	:58:42	Karin, Schmalfeld	Germany
21	:59:00	Vilma, Rudzenskaite	Lithuania
22	:59:20	Lucie, Bohm	Austria
23	01:00:10	Aneta, Matuszkiewicz	Poland
24	01:00:23	Yvonne, Fjordside	Denmark
25	01:00:40	Tatiana, Pereliaeva	Russia
26	01:00:43	Zsuzsa, Fey	Romania
27	01:00:50	Jenni, Adams	New Zealand
28	01:01:03	Barbara, Baczek	Poland
29	01:02:26	Encarna, Maturana	Spain
30	01:02:38	Kirti, Rebane	Estonia
31	01:02:39	Chloe, Manissolle	France
32	01:03:48	Rachel, Smith	New Zealand
33	01:04:31	Pamela, James	Canada
34	01:05:03	Maria, Lubinszki	Hungary
35	01:05:58	Verena, Troi	Italy
36	01:07:41	Katarina, Libantova	Slovakia
37	01:08:55	Olena, Zabrodska	Ukraine
38	01:09:56	Nuala, Higgins	Ireland
39	01:10:01	Cherie, Mahoney	Canada
39	01:10:01	Andrea, Eisl	Austria
41	01:10:44	Sofie, Herremans	Belgium
42	01:12:41	Eleonora, Nikolova	Bulgaria
43	01:12:49	Katrin, Renger	Germany
44	01:13:11	Marie-Violaine, Palcau	France
45	01:15:21	Sabine, Rottensteiner	Italy
46	01:16:50	Inga, Dambe	Latvia
47	01:18:06	Karen, Williams	United States
48	01:18:13	Peggy, Dickison	United States
49	01:19:02	Anna, Amigo	Spain
50	01:19:04	Eileen, Loughman	Ireland
51	01:22:44	田島利佳	日本
52	01:35:53	落合志保子	日本
53	01:45:00	Michele, Mulder	South Africa

（2）クラシックレース決勝（8月4日）

○男子クラシック決勝

Rank	Time	Name	Team
1	01:37:24	Bjornar, Valstad	Norway
2	01:40:20	Carl Henrik, Bjorseth	Norway
3	01:40:26	Alain, Berger	Switzerland
4	01:42:29	Jimmy, Birklin	Sweden
5	01:42:50	Johan, Ivarsson	Sweden
6	01:42:57	Petter, Thoresen	Norway
7	01:43:15	Bernt, Bjornsgaard	Norway
8	01:43:34	Jon, Tvedt	Norway
9	01:43:41	Thomas, Buhrer	Switzerland
10	01:44:07	Christoph, Plattner	Switzerland
11	01:45:03	Carsten, Jorgensen	Denmark
12	01:45:37	Steven, Hale	Great Britain
13	01:46:37	Edgaras, Voveris	Lithuania
14	01:46:42	Marian, Davidik	Slovakia
15	01:46:45	Flemming, Jorgensen	Denmark
16	01:47:14	Hakan, Eriksson	Sweden
17	01:47:26	Kenneth, Cederberg	Finland
18	01:47:51	Marius, Mazulis	Lithuania
19	01:47:59	Allan, Mogensen	Denmark
20	01:48:37	Timo, Karppinen	Finland
21	01:48:52	Michele, Tavernaro	Italy
22	01:49:31	Mikhael, Manleev	Russia
23	01:49:36	Yuri, Omelchenko	Ukraine
24	01:49:51	Janne, Salmi	Finland
25	01:50:05	Jon, Duncan	Great Britain
26	01:50:28	Michal, Horacek	CzechRepublic
27	01:50:47	Mats, Haldin	Finland
28	01:51:04	Janis, Ozolins	Latvia
29	01:52:09	Sixten, Sild	Estonia
30	01:52:15	Robert, Banach	Poland
31	01:53:24	Nerijus, Sulcys	Lithuania
32	01:53:38	Jamie, Stevenson	Great Britain
33	01:54:12	Alistair, Landels	New Zealand
34	01:55:13	Michael, Wehlin	Sweden
35	01:55:37	Tarvo, Avaste	Estonia
36	01:55:40	Janusz, Porzycz	Poland
37	01:55:50	Rudolf, Ropek	CzechRepublic
38	01:56:41	Sylvain, Mougin	France
39	01:57:04	Michal, Jedlicka	CzechRepublic
40	01:57:12	Oleksandr, Mykhaylov	Ukraine
41	01:58:58	Jozef, Pollak	Slovakia
42	01:59:06	Thomas H, Nielsen	Denmark
43	02:00:11	Daniel, Giger	Switzerland
44	02:01:45	Olle, Karner	Estonia
45	02:02:10	Bruce, McLeod	New Zealand
46	02:05:06	Darren, Ashmore	New Zealand
47	02:05:18	Thomas, Krejci	Austria
48	02:06:29	Frantisek, Libant	Slovakia
49	02:08:42	Libor, Zridkavesely	CzechRepublic
50	02:09:09	Michael, Thierolf	Germany
51	02:09:24	Tom, Quayle	Australia
52	02:11:02	Greg, Barbour	New Zealand
53	02:11:53	Andreas, Polzl	Austria
54	02:11:59	Fabien, Pasquasy	Belgium
55	02:14:28	Ingo, Horst	Germany
56	02:18:20	Guntars, Smitins	Latvia
57	02:27:02	Erik, Aibast	Estonia
58	02:27:12	Andras, Simon	Romania
DSQ	01:37:52	Svajunas, Ambrazas	Lithuania
DSQ	01:50:52	Igor, Trukhan	Ukraine

○女子クラシック決勝

Rank	Time	Name	Team
1	01:17:56	Kirsi, Bostrom	Finland
2	01:18:29	Hanne, Staff	Norway
3	01:18:32	Johanna, Asklof	Finland
4	01:19:09	Yvette, Baker	Great Britain
5	01:19:37	Hanne, Sandstad	Norway
6	01:19:45	Reeta-Mari, Kolkkala	Finland
7	01:19:57	Kulli, Kaljus	Estonia
8	01:21:21	Heather, Monro	Great Britain
9	01:21:41	Brigitte, Wolf	Switzerland
10	01:22:27	Giedre, Voveriene	Lithuania
11	01:22:33	Frauke, Schmitt Gran	Germany
12	01:22:34	Katarina, Allberg	Sweden
12	01:22:34	Vroni, Koenig-Salmi	Switzerland
14	01:22:37	Anette, Granstedt	Sweden
15	01:23:51	Sabrina, Meister	Switzerland
16	01:24:01	Danute, Mansson	Lithuania
17	01:24:39	Lucie, Bohm	Austria
18	01:24:42	Elisabeth, Ingvaldsen	Norway
19	01:24:52	Tracy, Bluett	Australia
20	01:25:22	Anna, Garin	Spain
21	01:25:36	Kim, Buckley	Great Britain
22	01:25:53	Gunilla, Svard	Sweden
23	01:26:25	Liisa, Anttila	Finland
24	01:27:01	Katarina, Borg	Sweden
25	01:27:05	Maret, Vaher	Estonia
26	01:27:14	Jana, Cieslarova	CzechRepublic
27	01:27:53	Ragnhild, Myrvold	Norway
28	01:27:57	Birgitte, Husebye	Norway
29	01:28:15	Karin, Schmalfeld	Germany
30	01:28:22	Tania, Robinson	New Zealand
31	01:28:24	Nina, Vinnytska	Ukraine
32	01:28:25	Nicki, Taws	Australia
33	01:29:28	Kaethi, Widler	Switzerland
34	01:29:52	Ewa, Kozlowska	Poland
35	01:30:42	Aneta, Matuszkiewicz	Poland
36	01:30:49	Dorte, Dahl	Denmark
37	01:31:33	Jenny, James	Great Britain
38	01:31:43	Alix, Young	Australia
39	01:33:09	Tatiana, Pereliaeva	Russia
40	01:33:14	Ildiko, Kovacs	Hungary
41	01:33:15	Zsuzsa, Fey	Romania
42	01:33:48	Eva, Jurenikova	CzechRepublic
43	01:34:06	Barbara, Baczek	Poland
44	01:35:12	Helene, Hausner	Denmark
45	01:35:23	Anna, Gornicka	Poland
46	01:35:56	Judith, Keinath	Germany
47	01:35:59	Ruth, Vaher	Estonia
48	01:36:20	Juliette, Soulard	France
49	01:37:12	Antonia, Wood	New Zealand
50	01:37:54	Tatiana, Kostileva	Russia
51	01:40:54	Kirti, Rebane	Estonia
52	01:41:28	Marcela, Klapalova	CzechRepublic
53	01:43:24	Encarna, Maturana	Spain
54	01:43:26	Vilma, Rudzenskaite	Lithuania
55	01:44:22	Marya, Spasyuk	Ukraine
56	01:45:14	Jenni, Adams	New Zealand
57	02:02:19	Yvonne, Fjordside	Denmark
DSQ	:51:41	Katalin, Olah	Hungary
DSQ	01:39:41	Laure, Coupat	France
DSQ	01:39:52	Natasha, Key	Australia

（3）ショートディスタンス予選（8月6日）

○男子ショートディスタンス予選1組

Rank	Time	Name	Team
1	:31:32	Rudolf, Ropek	CzechRepublic
2	:31:34	Juha, Peltola	Finland
3	:31:48	Janne, Salmi	Finland
4	:32:09	Bjornar, Valstad	Norway
5	:33:12	Dave, Peel	Great Britain
6	:33:49	Yuri, Omelchenko	Ukraine
7	:34:14	Thierry, Gueorgiou	France
8	:34:26	Jorgen, Olsson	Sweden
9	:34:53	Christoph, Plattner	Switzerland
10	:35:01	Nerijus, Sulcys	Lithuania
11	:35:25	Michele, Tavernaro	Italy
12	:35:49	Robert, Banach	Poland
13	:36:12	Olle, Karner	Estonia
14	:36:13	Bruce, McLeod	New Zealand
15	:37:02	Rolf, Breckle	Germany
16	:37:47	Carsten, Jorgensen	Denmark
17	:38:51	Janis, Ozolins	Latvia
18	:40:06	Grant, Bluett	Australia
19	:40:46	Peter, Nelson	United States
20	:41:52	Pedro, Pasion	Spain
21	:42:25	Ferenc, Viniczai	Hungary
22	:45:52	Marian, Davidik	Slovakia
23	:46:08	Colm, O'Halloran	Ireland
24	:48:49	Mihai, Veres	Romania
25	:49:12	Christian, Mohn	Austria
26	:49:44	山口大助	日本
27	:49:47	Douglas, Mahoney	Canada
28	:51:14	Teodor, Todorov	Bulgaria
29	:55:21	Martin, Terry	South Africa
30	:56:03	Robert, Theiss	Belgium
31	01:09:51	Daniel, Griff	Israel

○男子ショートディスタンス予選2組

Rank	Time	Name	Team Nation
1	:31:15	Allan, Mogensen	Denmark
2	:32:00	Johan, Ivarsson	Sweden
3	:32:23	Thomas, Buehrer	Switzerland
4	:33:15	Steven, Hale	Great Britain
4	:33:15	Petter, Thoresen	Norway
6	:34:32	Alistair, Landels	New Zealand
7	:35:59	Marcus, Pinker	Ireland
8	:36:00	Gabor, Domonyik	Hungary
9	:36:25	Timo, Karppinen	Finland
10	:36:52	Jozef, Wallner	Slovakia
11	:37:18	Thomas, Krejci	Austria
12	:38:03	Mike, Smith	Canada
13	:38:54	Vyacheslav, Mukhidinov	Ukraine
14	:40:13	Javier, Gomez	Spain
15	:40:20	Paolo Mario, Grassi	Italy
16	:40:33	村越真	日本
17	:42:26	James, Scarborough	United States
18	:42:46	Girts, Vegeris	Latvia
19	:45:48	Stephen, Craig	Australia
20	:45:53	Richard, Klech	CzechRepublic
21	:46:14	Slawomir, Wozniak	Poland
22	:48:36	Robert, Dittmann	Germany
23	:50:37	Guido, Lenges	Belgium
24	:51:45	Geoff, Peck	HongKong
25	:53:00	Mark, Heikoop	Netherlands
26	01:02:39	Nicholas, Mulder	South Africa
27	01:03:35	Dan, Chissick	Israel
28	01:06:46	Ovidiu Mugurel, Mutiu	Romania
DSQ	:39:00	Sixten, Sild	Estonia
DSQ	:46:18	Francois, Gonon	France
DSQ	01:04:01	Svajunas, Ambrazas	Lithuania

○男子ショートディスタンス予選3組

Rank	Time	Name	Team Nation
1	:31:21	Jani, Lakanen	Finland
2	:33:39	Thomas, Jensen	Denmark
3	:34:06	Jorgen, Rostrup	Norway
4	:34:18	Jamie, Stevenson	Great Britain
5	:34:28	Michal, Horacek	CzechRepublic
6	:34:56	Edgaras, Voveris	Lithuania
7	:35:19	Alain, Berger	Switzerland
8	:36:02	Jozef, Pollak	Slovakia
9	:36:12	Remi, Gueorgiou	France
10	:36:30	Troy, De Haas	Australia
11	:37:11	Jimmy, Birklin	Sweden
12	:37:18	Pierpaolo, Corona	Italy
13	:37:31	Erik, Aibast	Estonia
14	:38:36	Jan, Zazgornik	Austria
15	:39:06	Rafal, Krafczyk	Poland
16	:40:37	Darren, Ashmore	New Zealand
17	:40:47	Nick, Duca	Romania
18	:41:25	Oskars, Zernis	Latvia
19	:45:19	Nicolas, Sillien	Belgium
20	:46:38	松澤俊行	日本
21	:46:51	Wil, Smith	Canada
22	:46:52	Eric, Bone	United States
23	:47:31	Colm, Rothery	Ireland
24	:49:07	Maksym, Shtelmakh	Ukraine
25	:55:02	Joaquim, Sousa	Portugal
26	:56:30	Peter, Vonyo	Hungary
27	01:13:02	Noam, Ravid	Israel
28	01:27:44	Ruedi, Siegenthaler	South Africa
DSQ	:37:35	Michael, Thierolf	Germany
DSQ	:54:22	AlexanderRobert, Morgan	HongKong
DSQ	01:00:18	Alberto, Minguez	Spain

○男子ショートディスタンス予選4組

Rank	Time	Name	Team
1	:34:03	Matthias, Niggli	Switzerland
2	:34:09	Hakan, Eriksson	Sweden
3	:34:13	Mikael, Bostrom	Finland
4	:35:20	Michal, Jedlicka	CzechRepublic
5	:36:16	Mikhael, Mamleev	Russia
6	:36:22	Marius, Mazulis	Lithuania
7	:36:29	Norbert, Helminger	Austria
8	:36:52	Frantisek, Libant	Slovakia
9	:37:55	Oleksandr, Mykhaylov	Ukraine
10	:38:08	Tarvo, Avaste	Estonia
11	:38:36	Janusz, Porzycz	Poland
12	:38:59	Paul Marius, Brabiescu	Romania
13	:39:03	Tore, Sandvik	Norway
14	:40:29	Fabrice, Vannier	France
15	:40:40	Guntars, Smitins	Latvia
16	:40:46	藤城公久	日本
17	:41:23	Tilo, Pompe	Germany
18	:41:25	Joe, Brautigam	United States
19	:43:11	Oli, Johnson	Great Britain
20	:43:43	John, Feehan	Ireland
21	:45:41	Rob, Walter	Australia
22	:46:25	Carlo, Rigoni	Italy
23	:49:53	Daniel, Gutman	Israel
24	:50:07	Morten, Fenger-Gron	Denmark

25	:51:22	Zoltan, Denes	Hungary
26	:53:37	Wim, Peers	Belgium
27	:58:23	Greg, Barbour	New Zealand
28	01:04:12	Alaric, Fish	Canada
29	01:05:14	Steve, Holmes	HongKong
30	01:05:15	Gary, De Klerk	South Africa
DSQ	:42:29	Jose, Garcia	Spain

○女子ショートディスタンス予選１組

Rank	Time	Name	Team Nation
1	:31:44	Hanne, Staff	Norway
2	:32:59	Tracy, Bluett	Australia
3	:33:35	Eija, Koskivaara	Finland
4	:33:40	Simone, Luder	Switzerland
5	:35:47	Kulli, Kaljus	Estonia
6	:36:02	Frauke, Schmitt Gran	Germany
7	:36:47	Lorna, Eades	Great Britain
8	:36:52	Rasa, Jaugeliene	Lithuania
9	:37:05	Juliette, Soulard	France
10	:37:11	Gunilla, Svard	Sweden
11	:37:40	Maria M, Hoyer	Denmark
12	:37:44	Barbara, Tobler	Austria
13	:38:31	Jenni, Adams	New Zealand
14	:39:27	Barbara, Baczek	Poland
15	:42:48	Katarina, Libantova	Slovakia
16	:44:10	Nina, Vinnytska	Ukraine
16	:44:10	Sandy, Smith	Canada
18	:44:47	Una, Creagh	Ireland
19	:45:50	Sabine, Rottensteiner	Italy
20	:46:33	Sofie, Herremans	Belgium
21	:47:48	Eleonora, Nikolova	Bulgaria
22	:47:58	Olga, Lepsikova	CzechRepublic
23	:52:15	Michele, Mulder	South Africa
24	:52:58	Karen, Williams	United States
25	:56:27	Agnes, Wengrin	Hungary
26	01:03:10	三好暢子	日本
27	01:09:35	Laia, Santamaria	Spain

○女子ショートディスタンス予選２組

Rank	Time	Name	Team Nation
1	:34:16	Vroni, Koenig-Salmi	Switzerland
2	:35:01	Pamela, James	Canada
3	:35:07	Sanna, Nymalm	Finland
4	:35:12	Elisabeth, Ingvaldsen	Norway
5	:36:57	Vilma, Rudzenskaite	Lithuania
6	:38:05	Tine, Rasmussen	Denmark
7	:38:12	Maria, Sandstrom	Sweden
8	:38:14	Marcela, Klapalova	CzechRepublic
9	:38:49	Tania, Robinson	New Zealand
10	:39:09	Natasha, Key	Australia
11	:39:29	Pavlina, Brautigam	United States
12	:39:34	Helen, Hargreaves	Great Britain
13	:40:43	Bernadett, Kovacs	Hungary
14	:42:01	Kirti, Rebane	Estonia
15	:42:21	Renate, Fauner	Italy
16	:44:11	Katrin, Renger	Germany
17	:44:14	Ewa, Kozlowska	Poland
18	:44:58	Marie-Violaine, Palcau	France
19	:46:19	Andrea, Eisl	Austria
20	:49:59	Inna, Faingold	Israel
21	:51:52	Ianka, Evans	Bulgaria
22	:54:07	Viktoriya, Plokhenko	Ukraine
23	:57:43	田島利佳	日本
24	01:00:54	Kathy, Kitchin	South Africa
25	01:16:28	Ailbhe, Creedon	Ireland
26	01:22:29	Anna, Amigo	Spain

○女子ショートディスタンス予選３組

Rank	Time	Name	Team
1	:29:17	Yvette, Baker	Great Britain
2	:31:16	Anna, Garin	Spain
3	:32:45	Nicki, Taws	Australia
4	:33:47	Danute, Mansson	Lithuania
5	:34:03	Kirsi, Bostrom	Finland
6	:34:04	Eva, Jurenikova	CzechRepublic
7	:34:39	Brigitte, Wolf	Switzerland
8	:35:44	Helene, Hausner	Denmark
9	:36:00	Olena, Zabrodska	Ukraine
10	:36:06	Tatiana, Pereliaeva	Russia
11	:36:26	Zsuzsa, Fey	Romania
12	:36:29	Ellen, Moen	Norway
13	:37:03	Michaela, Gigon	Austria
14	:38:03	Karolina, Arewang	Sweden
15	:38:06	Ruth, Vaher	Estonia
16	:38:18	Anke, Xylander	Germany
17	:38:39	Inga, Dambe	Latvia
18	:40:09	Laure, Coupat	France
19	:45:22	Rachel, Smith	New Zealand
20	:45:24	Marie-Catherine, Bruno	Canada
21	:45:52	Aneta, Matuszkiewicz	Poland
22	:46:21	Laura, Scaravonati	Italy
23	:49:13	Ildiko, Kovacs	Hungary
24	:50:22	金並由香	日本
25	:52:31	Julie, Cleary	Ireland
26	01:12:19	Peggy, Dickison	United States

○女子ショートディスタンス予選４組

Rank	Time	Name	Team Nation
1	:32:38	Johanna, Asklof	Finland
2	:32:43	Hanne, Sandstad	Norway
3	:33:36	Sabrina, Meister	Switzerland
4	:33:51	Lucie, Bohm	Austria
5	:35:36	Heather, Monro	Great Britain
6	:36:38	Encarna, Maturana	Spain
7	:36:40	Tatiana, Kostileva	Russia
8	:37:43	Dorte, Dahl	Denmark
9	:38:07	Karin, Schmalfeld	Germany
10	:38:59	Giedre, Voveriene	Lithuania
11	:39:36	Marlena, Jansson	Sweden
11	:39:36	Toni, O'Donovan	Ireland
13	:39:59	Anna, Gornicka	Poland
14	:40:16	Cassie, Trewin	Australia
15	:40:43	Maria, Lubinszki	Hungary
16	:43:13	Jana, Cieslarova	CzechRepublic
17	:43:32	Verena, Troi	Italy
18	:43:34	Maret, Vaher	Estonia
19	:44:11	Antonia, Wood	New Zealand
20	:44:28	Cherie, Mahoney	Canada
21	:45:35	Agnes, Simon	Romania
22	:48:15	落合志保子	日本
23	:53:49	Emilia, Silveira	Portugal
24	:58:24	Marya, Spasyuk	Ukraine
25	01:04:01	Sandra, Zurcher	United States
DSQ	:50:38	Pauline, Filet	France

（4）ショートディスタンス決勝（8月7日）

○男子ショートディスタンス決勝

Rank	Time	Name	Team
1	:25:48	Jorgen, Rostrup	Norway
2	:26:11	Juha, Peltola	Finland
3	:26:14	Janne, Salmi	Finland
4	:26:15	Jani, Lakanen	Finland
5	:26:24	Hakan, Eriksson	Sweden
6	:26:44	Johan, Ivarsson	Sweden
7	:26:59	Petter, Thoresen	Norway
8	:27:01	Steven, Hale	Great Britain
9	:27:15	Mikael, Bostrom	Finland
10	:27:20	Bjornar, Valstad	Norway
11	:27:24	Alain, Berger	Switzerland
12	:27:28	Tore, Sandvik	Norway
13	:27:30	Jorgen, Olsson	Sweden
14	:27:34	Michal, Horacek	CzechRepublic
15	:27:53	Rudolf, Ropek	CzechRepublic
16	:27:55	Edgaras, Voveris	Lithuania
17	:27:58	Timo, Karppinen	Finland
18	:28:04	Jimmy, Birklin	Sweden
19	:28:16	Allan, Mogensen	Denmark
20	:28:20	Marius, Mazulis	Lithuania
21	:28:21	Yuri, Omelchenko	Ukraine
21	:28:21	Michal, Jedlicka	CzechRepublic
23	:28:31	Thomas, Jensen	Denmark
24	:28:34	Thierry, Gueorgiou	France
25	:28:39	Matthias, Niggli	Switzerland
26	:28:47	Nerijus, Sulcys	Lithuania
27	:28:58	Mikhael, Mamleev	Russia
28	:29:25	Oleksandr, Mykhaylov	Ukraine
29	:29:26	Thomas, Buehrer	Switzerland
30	:29:49	Jozef, Pollak	Slovakia
31	:29:56	Christoph, Plattner	Switzerland
32	:30:07	Thomas, Krejci	Austria
33	:30:13	Michele, Tavernaro	Italy
34	:30:15	Jamie, Stevenson	Great Britain
35	:30:26	Gabor, Domonyik	Hungary
36	:30:31	Norbert, Helminger	Austria
37	:30:32	Dave, Peel	Great Britain
38	:30:37	Frantisek, Libant	Slovakia
39	:30:45	Janusz, Porzycz	Poland
40	:30:53	Marcus, Pinker	Ireland
41	:31:02	Tarvo, Avaste	Estonia
42	:31:07	Remi, Gueorgiou	France
43	:31:09	Alistair, Landels	New Zealand
44	:31:13	Pierpaolo, Corona	Italy
45	:31:37	Troy, De Haas	Australia
46	:32:02	Rolf, Breckle	Germany
47	:32:03	Erik, Aibast	Estonia
48	:32:49	Vyacheslav, Mukhidinov	Ukraine
49	:32:50	Bruce, McLeod	New Zealand
50	:32:52	Olle, Karner	Estonia
51	:33:00	Jan, Zazgornik	Austria
52	:33:24	Mike, Smith	Canada
53	:33:41	Robert, Banach	Poland
54	:33:55	Jozef, Wallner	Slovakia
55	:34:18	Paul Marius, Brabiescu	Romania
56	:35:31	Rafal, Krafczyk	Poland
57	:35:34	Fabrice, Vannier	France
58	:39:05	Paolo Mario, Grassi	Italy
59	:40:18	Guntars, Smitins	Latvia
60	:40:43	Javier, Gomez	Spain

○女子ショートディスタンス決勝

Rank	Time	Name	Team
1	:25:55	Yvette, Baker	Great Britain
2	:26:57	Lucie, Bohm	Austria
3	:27:48	Frauke, Schmitt Gran	Germany
4	:27:50	Sanna, Nymalm	Finland
4	:27:50	Marlena, Jansson	Sweden
6	:27:55	Hanne, Sandstad	Norway
7	:28:24	Vroni, Koenig-Salmi	Switzerland
8	:28:39	Johanna, Asklof	Finland
9	:28:44	Sabrina, Meister	Switzerland
10	:28:56	Gunilla, Svard	Sweden
11	:29:09	Eija, Koskivaara	Finland
12	:29:15	Heather, Monro	Great Britain
13	:29:17	Kulli, Kaljus	Estonia
14	:29:18	Tracy, Bluett	Australia
15	:29:24	Simone, Luder	Switzerland
16	:29:27	Tatiana, Pereliaeva	Russia
17	:29:34	Kirsi, Bostrom	Finland
18	:29:40	Dorte, Dahl	Denmark
19	:30:00	Helene, Hausner	Denmark
20	:30:19	Pamela, James	Canada
21	:30:20	Maria, Sandstrom	Sweden
22	:30:24	Hanne, Staff	Norway
23	:30:28	Karin, Schmalfeld	Germany
24	:30:38	Eva, Jurenikova	CzechRepublic
25	:30:59	Jenni, Adams	New Zealand
26	:31:05	Natasha, Key	Australia
27	:31:07	Elisabeth, Ingvaldsen	Norway
28	:31:36	Karolina, Arewang	Sweden
29	:31:41	Vilma, Rudzenskaite	Lithuania
30	:31:44	Marcela, Klapalova	CzechRepublic
31	:31:50	Tatiana, Kostileva	Russia
32	:31:58	Giedre, Voveriene	Lithuania
33	:32:03	Lorna, Eades	Great Britain
34	:32:12	Danute, Mansson	Lithuania
35	:32:24	Anna, Garin	Spain
36	:32:26	Kirti, Rebane	Estonia
37	:32:33	Rasa, Jaugeliene	Lithuania
38	:32:34	Zsuzsa, Fey	Romania
39	:32:50	Tine, Rasmussen	Denmark
40	:32:55	Encarna, Maturana	Spain
41	:33:17	Nicki, Taws	Australia
42	:33:21	Cassie, Trewin	Australia
43	:33:28	Pavlina, Brautigam	United States
44	:33:29	Ellen, Moen	Norway
45	:33:58	Maria M, Hoyer	Denmark
45	:33:58	Michaela, Gigon	Austria
47	:34:07	Tania, Robinson	New Zealand
48	:34:25	Toni, O'Donovan	Ireland
49	:34:48	Renate, Fauner	Italy
50	:35:24	Maria, Lubinszki	Hungary
51	:35:39	Brigitte, Wolf	Switzerland
52	:35:46	Bernadett, Kovacs	Hungary
53	:35:55	Helen, Hargreaves	Great Britain
54	:36:03	Olena, Zabrodska	Ukraine
55	:36:24	Juliette, Soulard	France
56	:37:01	Katarina, Libantova	Slovakia
57	:37:16	Ruth, Vaher	Estonia
58	:38:55	Barbara, Baczek	Poland
59	:39:33	Anna, Gornicka	Poland
60	:41:59	Barbara, Tobler	Austria

（5）リレー（8月8日）

○男子リレー

1.	3 Norway	3:21:50	
1	Tore Sandvik	56:59	(5)
2	Bernt Bjornsgaard	44:14	(1)
3	Petter Thoresen	43:16	(1)
4	Bjornar Valstad	57:21	(1)
2.	2 Finland	3:25:27	
1	Jani Lakanen	56:44	(1)
2	Juha Peltola	44:33	(2)
3	Mikael Bostrom	44:23	(2)
4	Janne Salmi	59:47	(2)
3.	33 Sweden	3:26:50	
1	Jimmy Birklin	57:53	(7)
2	Hakan Eriksson	46:02	(4)
3	Jorgen Olsson	44:57	(4)
4	Johan Ivarsson	57:58	(3)
4.	5 Switzerland	3:28:09	
1	Daniel Giger	1:04:17	(19)
2	Alain Berger	44:32	(10)
3	Christoph Plattner	43:33	(6)
4	Thomas Buehrer	55:47	(4)
5.	6 Great Britain	3:28:59	
1	Jon Duncan	56:46	(2)
2	Jamie Stevenson	45:55	(3)
3	Stephen Palmer	47:02	(5)
4	Steven Hale	59:16	(5)
6.	31 Lithuania	3:31:47	
1	Svajunas Ambrazas	56:49	(3)
2	Nerijus Sulcys	51:37	(9)
3	Marius Mazulis	46:39	(7)
4	Edgaras Voveris	56:42	(6)
7.	1 Denmark	3:37:58	
1	Morten Fenger-Gron	59:27	(9)
2	Flemming Jorgensen	46:42	(5)
3	Carsten Jorgensen	42:29	(3)
4	Allan Mogensen	1:09:20	(7)
8.	9 Czech Republic	3:40:42	
1	Tomas Prokes	1:03:25	(13)
2	Michal Horacek	50:41	(15)
3	Michal Jedlicka	46:49	(11)
4	Rudolf Ropek	59:47	(8)
9.	16 Estonia	3:42:44	
1	Tarvo Avaste	59:34	(11)
2	Erik Aibast	52:14	(14)
3	Olle Karner	49:06	(10)
4	Sixten Sild	1:01:50	(9)
10.	11 Australia	3:46:36	
1	Grant Bluett	59:30	(10)
2	Stephen Craig	48:50	(8)
3	Rob Walter	57:37	(15)
4	Tom Quayle	1:00:39	(10)
11.	8 Poland	3:46:50	
1	Rafal Krafczyk	1:03:24	(12)
2	Robert Banach	46:43	(11)
3	Slawomir Wozniak	50:44	(9)
4	Janusz Porzycz	1:05:59	(11)
12.	12 France	3:48:34	
1	Sylvain Mougin	1:03:59	(15)
2	Remi Gueorgiou	53:39	(17)
3	Francois Gonon	48:11	(13)
4	Thierry Gueorgiou	1:02:45	(12)
13.	29 Italy	3:50:55	
1	Michele Tavernaro	56:50	(4)
2	Pierpaolo Corona	51:28	(7)
3	Roberto Pradel	49:21	(8)
4	Carlo Rigoni	1:13:16	(13)
14.	14 Slovakia	3:51:14	
1	Frantisek Libant	1:04:06	(16)
2	Jozef Pollak	47:31	(12)
3	Jozef Wallner	54:17	(14)
4	Marian Davidik	1:05:20	(14)
15.	10 Germany	3:51:20	
1	Rolf Breckle	1:03:30	(14)
2	Ingo Horst	48:09	(13)
3	Robert Dittmann	52:57	(12)
4	Tilo Pompe	1:06:44	(15)
16.	13 New Zealand	3:56:08	
1	Darren Ashmore	1:04:12	(17)
2	Greg Barbour	52:56	(16)
3	Bruce McLeod	52:15	(17)
4	Alistair Landels	1:06:45	(16)
17.	17 Austria	3:58:08	
1	Christian Mohn	1:11:46	(21)
2	Thomas Krejci	47:31	(19)
3	Norbert Helminger	52:39	(18)
4	Jan Zazgornik	1:06:12	(17)
18.	30 Latvia	3:58:10	
1	Oskars Zernis	1:18:44	(27)
2	Girts Vegeris	46:43	(23)
3	Guntars Smitins	49:17	(20)
4	Janis Ozolins	1:03:26	(18)
19.	22 Belgium	4:03:42	
1	Fabien Pasquasy	57:06	(6)
2	Nicolas Sillien	49:05	(6)
3	Robert Theiss	1:06:53	(19)
4	Wim Peers	1:10:38	(19)
20.	7 Ukraine	4:03:48	
1	Maksym Shtelmakh	1:13:08	(23)
2	Oleksandr Mykhaylov	46:14	(20)
3	Igor Trukhan	49:56	(16)
4	Vyacheslav Mukhidinov	1:14:30	(20)
21.	19 Japan	4:11:33	
1	鹿島田浩二	1:04:14	(18)
2	藤城公久	54:05	(18)
3	松澤俊行	1:01:08	(22)
4	村越　真	1:12:06	(21)
22.	20 Ireland	4:14:42	
1	John Feehan	1:07:40	(20)
2	James Logue	57:15	(21)
3	Marcus Pinker	52:49	(21)
4	Colm Rothery	1:16:58	(22)
23.	18 Hungary	4:14:44	
1	Gabor Domonyik	59:26	(8)
2	Peter Vonyo	1:06:56	(25)
3	Ferenc Viniczai	58:35	(23)
4	Zoltan Denes	1:09:47	(23)
24.	15 Canada	4:31:10	
1	Wil Smith	1:11:47	(22)
2	Mike Smith	53:09	(22)
3	Alaric Fish	1:10:28	(26)
4	Douglas Mahoney	1:15:46	(24)
25.	21 USA	4:31:10	
1	Eric Bone	1:18:29	(26)
2	James Scarborough	55:51	(27)

3	Joe Brautigam	1:00:51	(25)
4	Mark Everett	1:15:59	(25)
26.	23 Spain	4:39:07	
1	Jose Garcia	1:15:38	(25)
2	Pedro Pasion	58:18	(26)
3	Javier Gomez	59:28	(24)
4	Alberto Minguez	1:25:43	(26)
27.	32 Romania	4:49:41	
1	Ovidiu Mugurel Mutiu	1:14:27	(24)
2	Andras Simon	51:47	(24)
3	Mihai Veres	1:14:34	(27)
4	Nick Duca	1:28:53	(27)
28.	25 South Africa	5:23:08	
1	Martin Terry	1:46:18	(29)
2	Nicholas Mulder	1:00:31	(29)
3	Colin Dutkiewicz	1:08:28	(28)
4	Richard Gathercole	1:27:51	(28)
29.	24 Israel	5:42:32	
1	Daniel Griff	1:46:20	(30)
2	Daniel Gutman	1:11:33	(30)
3	Noam Ravid	58:11	(29)
4	Matan Naftaly	1:46:28	(29)
28	Hong Kong	4:11:28	
1	Alexander Robert Morgan	1:28:53	(28)
2	Steve Holmes	1:06:10	(28)
3	Ng K	1:36:25	(30)
4	Geoff Peck	0:00	Disq

○女子リレー

1.	52 Norway	2:55:56	
1	Birgitte Husebye	45:51	(6)
2	Elisabeth Ingvaldsen	44:43	(4)
3	Hanne Sandstad	41:37	(1)
4	Hanne Staff	43:45	(1)
2.	54 Finland	2:56:10	
1	Reeta-Mari Kolkkala	45:49	(5)
2	Sanna Nymalm	43:33	(2)
3	Kirsi Bostrom	44:07	(2)
4	Johanna Asklof	42:41	(2)
3.	51 Sweden	2:57:59	
1	Katarina Allberg	45:46	(3)
2	Marlena Jansson	47:43	(5)
3	Anette Granstedt	41:47	(3)
4	Gunilla Svard	42:43	(3)
4.	55 Great Britain	2:58:05	
1	Kim Buckley	45:48	(4)
2	Heather Monro	42:07	(1)
3	Jenny James	47:42	(4)
4	Yvette Baker	42:28	(4)
5.	53 Switzerland	2:59:37	
1	Vroni Koenig-Salmi	45:52	(7)
2	Kaethi Widler	47:46	(6)
3	Brigitte Wolf	43:49	(5)
4	Sabrina Meister	42:10	(5)
6.	76 Lithuania	3:19:11	
1	Giedre Voveriene	45:40	(1)
2	Vilma Rudzenskaite	44:42	(3)
3	Rasa Jaugeliene	52:33	(6)
4	Danute Mansson	56:16	(6)
7.	56 Australia	3:24:20	
1	Tracy Bluett	47:36	(9)
2	Alix Young	54:35	(8)
3	Natasha Key	51:31	(7)
4	Nicki Taws	50:38	(7)
8.	61 Germany	3:24:25	
1	Judith Keinath	54:10	(11)
2	Anke Xylander	48:50	(9)
3	Karin Schmalfeld	55:04	(11)
4	Frauke Schmitt Gran	46:21	(8)
9.	60 Czech Republic	3:24:28	
1	Petra Novotna	54:31	(15)
2	Eva Jurenikova	48:30	(10)
3	Marcela Klapalova	55:28	(13)
4	Jana Cieslarova	45:59	(9)
10.	65 Hungary	3:27:05	
1	Bernadett Kovacs	54:23	(13)
2	Agnes Wengrin	54:28	(15)
3	Maria Lubinszki	48:32	(9)
4	Ildiko Kovacs	49:42	(10)
11.	62 France	3:33:43	
1	Juliette Soulard	46:01	(8)
2	Pauline Filet	57:23	(11)
3	Laure Coupat	55:38	(14)
4	Marie-Violaine Palcau	54:41	(11)
12.	63 Austria	3:35:24	
1	Andrea Eisl	54:42	(17)
2	Lucie Bohm	44:46	(7)
3	Michaela Gigon	54:25	(8)
4	Barbara Tobler	1:01:31	(12)
13.	75 Italy	3:37:28	
1	Laura Scaravonati	54:35	(16)
2	Renate Fauner	54:02	(14)
3	Verena Troi	54:34	(15)
4	Sabine Rottensteiner	54:17	(13)
14.	68 Ukraine	3:38:25	
1	Marya Spasyuk	45:41	(2)
2	Iryna Kupriyanova	58:18	(12)
3	Olena Zabrodska	54:25	(12)
4	Nina Vinnytska	1:00:01	(14)
15.	57 Estonia	3:47:14	
1	Kirti Rebane	54:27	(14)
2	Ruth Vaher	51:45	(13)
3	Maret Vaher	51:16	(10)
4	Kulli Kaljus	1:09:46	(15)
16.	59 New Zealand	3:47:39	
1	Jenni Adams	54:44	(18)
2	Antonia Wood	1:01:21	(17)
3	Rachel Smith	56:27	(16)
4	Tania Robinson	55:07	(16)
17.	66 Denmark	3:58:14	
1	Maria M Hoyer	58:25	(19)
2	Helene Hausner	1:09:56	(21)
3	Tine Rasmussen	52:38	(17)
4	Dorte Dahl	57:15	(17)
18.	70 Canada	4:06:23	
1	Pamela James	1:01:57	(22)
2	Sandy Smith	55:42	(18)
3	Cherie Mahoney	1:03:23	(18)
4	Marie-Catherine Bruno	1:05:21	(18)
19.	77 Spain	4:21:51	
1	Anna Garin	54:16	(12)
2	Encarna Maturana	59:59	(16)
3	Laia Santamaria	1:22:46	(19)
4	Anna Amigo	1:04:50	(19)
20.	69 USA	4:29:11	
1	Pavlina Brautigam	58:43	(21)

2	Karen Williams	1:08:28	(20)
3	Eileen Breseman	1:20:56	(21)
4	Peggy Dickison	1:01:04	(20)
21.	71 日本	4:31:17	
1	金並由香	1:08:37	(23)
2	三好暢子	1:11:56	(22)
3	田島利佳	1:06:54	(20)
4	落合志保子	1:03:50	(21)
22.	74 Ireland	5:09:47	
1	Una Creagh	58:32	(20)
2	Toni O'Donovan	59:13	(19)
3	Ailbhe Creedon	1:57:57	(22)
4	Julie Cleary	1:14:05	(22)
64	Poland	2:47:34	
1	Ewa Kozlowska	50:49	(10)
2	Aneta Matuszkiewicz	1:00:27	Disq
3	Anna Gornicka	56:18	(23)
4	Barbara Baczek		

順位の後の数字はゼッケンナンバーを表わし，前回の世界選手権（ノルウェー）での順位を基に決められている（女子は前回順位に50を加えたもの）．

リレー表彰式（男子，女子ともノルウェー）

会計報告

支　出		収　入	
世界選手権大会エントリー（12名）	351,828	選手分担金	1,240,000
世界選手権大会宿泊費	522,143	SQUAD分担金	202,894
トレーニングマップ購入費	171,600	賛助金	682,000
トレーニングキャンプ宿泊費	341,424	選考会収益残金等	28,300
パブリックレース参加費	32,900		
レンタカー，ガソリン代	347,197		
食事，食料代（自炊が中心）	185,402		
ユニフォーム，エンブレム等	115,600		
薬代，洗濯代，送金手数料等雑費	85,100		
合計	2,153,194	合計	2,153,194

本報告書の印刷時でクレジットカードで支払ったレンタカー代などが未請求であるため，最終的な会計報告は多少異なると思われます．

村越 真 著　　**好評発売中**

「How to improve your orienteering」

この本は，「村越真の実践オリエンテーリング講座」（ＪＯＡ発行）の続編にあたるもので，中級者以上の方を対象としてまとめたものでございます．

売上益につきましては，世界選手権大会等に出場する代表選手の費用の一部に使用いたします．

申込方法

郵便振替の通信欄に「村越真の本希望」と必要冊数を明記の上，下記金額を送金してください．領収書の必要な方はその旨記入してください．

郵便振替　口座番号　００１６０－２－６５１３９６
　　加入者名　ＷＯＣ ＳＱＵＡＤ ＪＡＰＡＮ

書籍代金　1冊 1,500円

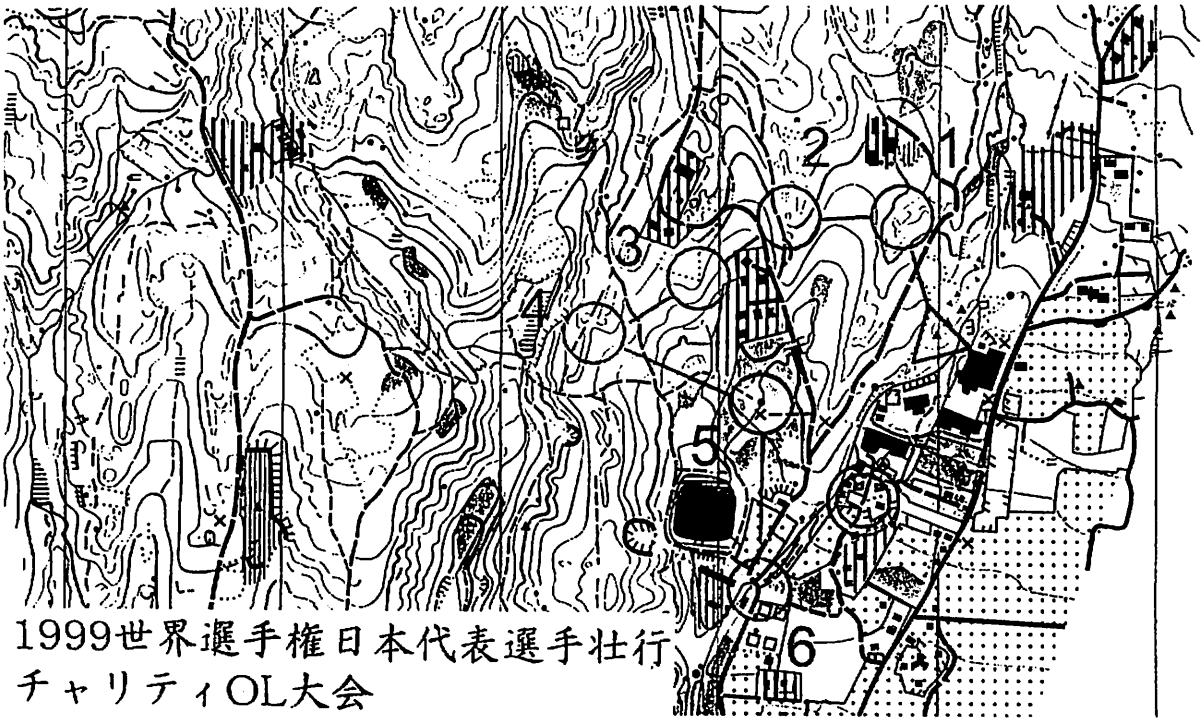
送　料　1冊 310円　2冊以上 610円　10冊以上当方負担

問合先　WOC SQUAD JAPAN　会計　齋藤 宏顕
TEL 03-5343-5254（21時～23時）
165-0027 東京都中野区野方 4-8-4 モリブリエ 304

春・夏・秋・冬

合宿は八ケ岳高原

八ケ岳レジャーセンター大泉



1999世界選手権日本代表選手壮行
チャリティOL大会

409-1052　山梨県北巨摩郡大泉村谷戸 5618
TEL: 0551-38-2231
FAX: 0551-38-2232

地図作成のプロフェッショナル

RMOサービス（代表 山川 克則）

276-0027　千葉県八千代市村上団地 1-12-103
TEL: 047-486-5162
E-mail: BXJ03321@nifty.ne.jp

第１８回オリエンテーリング世界選手権大会報告書
発　行：WOC SQUAD JAPAN
発行日：1999年9月25日
発行人：宮川 達哉
編　集：藤井 範久
事務局：稲葉 英雄
444-0802 愛知県岡崎市美合町字小豆坂 20-1
ユートピア小豆坂 211
090-7034-3687